

VERITAS™

お待たせしました！待望の新バージョン！

# Backup Exec 23の 新機能をご紹介します！



ベリタステクノロジーズ合同会社  
河野 正志

Veritas Vibe 2024.4.25



## 注意

製品の計画に関する将来的な記述は、仮のものです。  
将来のリリース日は、確定したのではなく、変更されることがあります。  
今後の製品のリリースや予定されている機能修正について、  
ベリタスは継続的な評価を行っており、実装されるかどうかは確定していません。したがって、購入の意思決定の判断材料にすべきではありません。

# Agenda

1. Backup Execの概要（おさらい）
2. Backup Exec 23のご紹介
  - Backup Exec 23のリリース概要
  - 仮想マシンバックアップセットのマルウェアスキャン
  - 役割ベースのアクセス制御（RBAC）
  - 仮想マシンのマルチストリームバックアップ
  - M365の機能強化：SharePoint Onlineのリストア
  - 対応言語の削減
  - 参考情報

# Agenda

## 1. Backup Execの概要（おさらい）

## 2. Backup Exec 23のご紹介

- Backup Exec 23のリリース概要
- 仮想マシンバックアップセットのマルウェアスキャン
- 役割ベースのアクセス制御（RBAC）
- 仮想マシンのマルチストリームバックアップ
- M365の機能強化：SharePoint Onlineのリストア
- 対応言語の削減
- 参考情報

# Veritas Backup Exec

## Simple is **BE**st



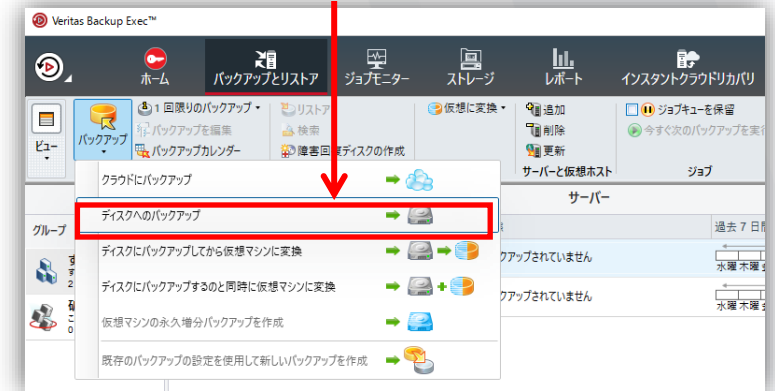
### 長い歴史と販売実績

- 40年近い歴史
- 200か国以上、200万社以上の販売実績
- かつてWindows NTに付属していたバックアップ

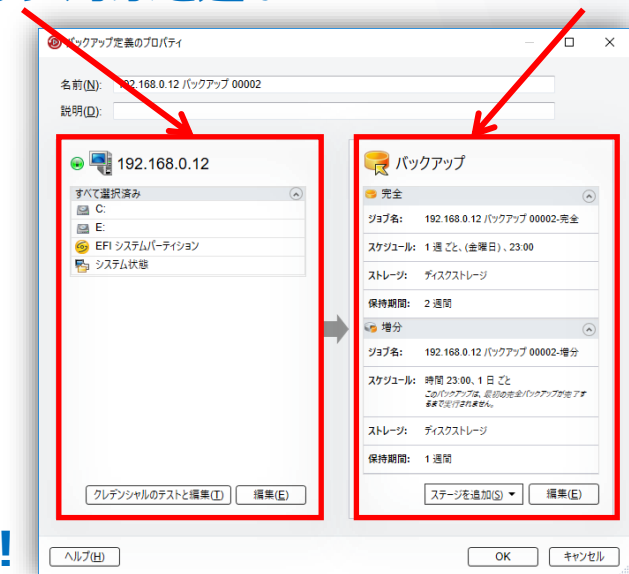
### SMB向けバックアップソリューション

- バックアップ経験がほとんど無い方に最適
- GUI中心のシンプルな操作性
  - 数ステップですぐにバックアップを開始
  - 今までの操作性を保ったまま、機能拡張を行う

### ① バックアップの保管先を決める



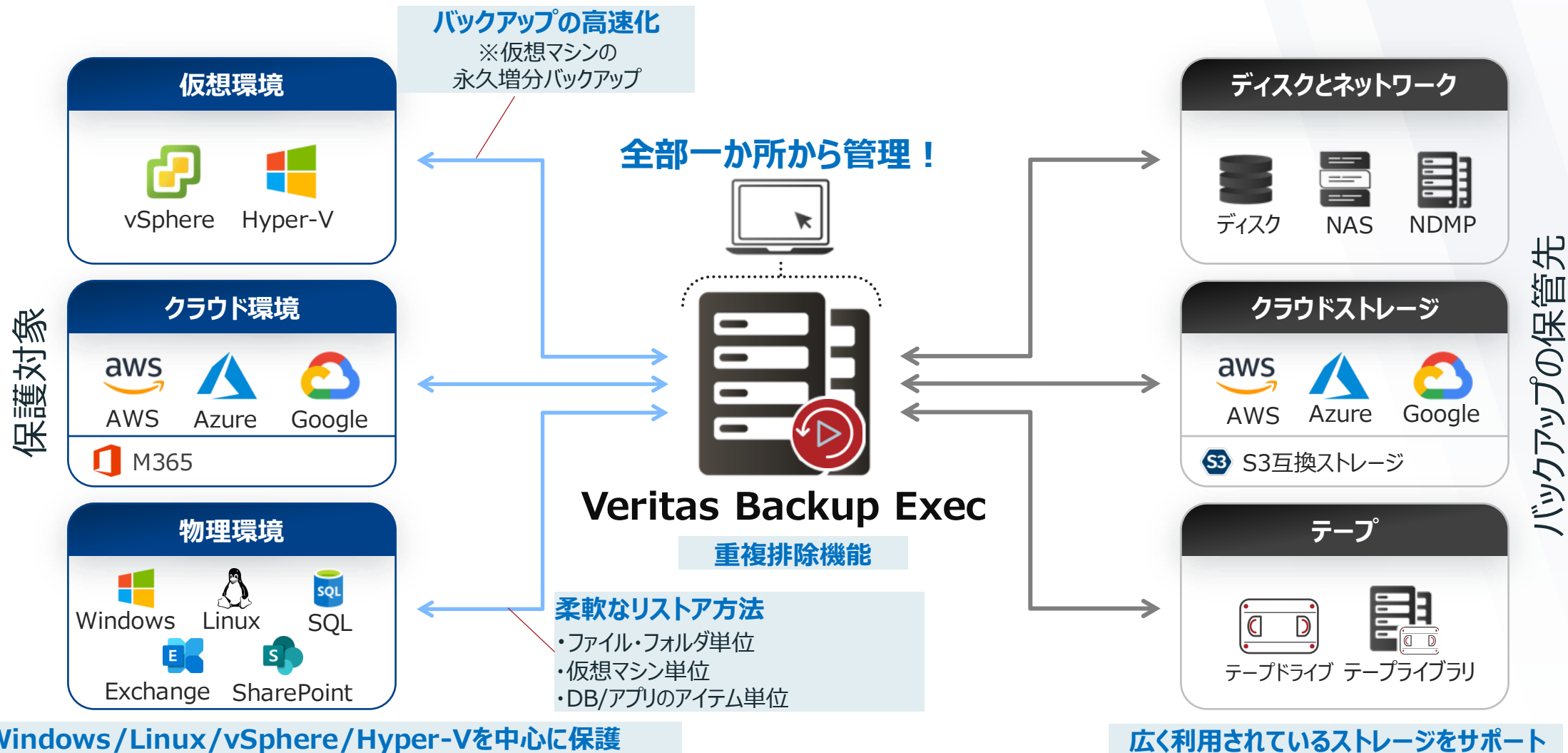
### ② バックアップ対象を選ぶ ③ バックアップ計画を決める



たったこれだけ！

# Veritas Backup Exec

SMB向けに絞った機能をお手頃な価格で提供



# SaaSデータの保護も大事！ Microsoft 365の保護



Microsoft 365のデータ保護とリカバリがBackup Execに完全統合！



M365  
Exchange

✓ Exchange  
Onlineの  
データ保護



M365  
OneDrive

✓ OneDriveのデータ  
保護



M365  
SharePoint

✓ SharePoint  
Onlineの  
データ保護



M365  
Teams

✓ Teamsの  
データ保護

使い慣れた今までの操作性で実現！

# Veritas Backup Exec シンプルライセンス



すべての機能が最初から含まれたオールインワンライセンス！

Veritas Backup Exec 機能一覧	
Backup Execサーバ →	
Windowsエージェント →	
VMware / Hyper-Vエージェント →	
重複排除オプション →	
アプリケーションとデータベースエージェント →	
Linux / Unixエージェント →	
Library Expansion Option (LEO) →	
Remote Media for Linux Servers (RMAL) →	
VTL Unlimited Drive Option (VUDU) →	
Enterprise Serverオプション →	
NDMPオプション →	
M365エージェント →	

BEシンプル
サブスクリプション
✓
✓
✓
✓
✓
✓
✓
✓
✓
✓
✓
✓
✓
✓
✓

従来の永続ライセンス				
アラカルト (単体)	V-Ray (CPU単位)	Bronze	Silver	Gold
個別にライセンス	✓	✓	✓	✓
	無制限*	✓	✓	✓
		✓	✓	✓
	✓	✓	✓	✓
	無制限*	--	✓	✓
		--	✓	✓
	--	1ドライブ	4ドライブ	無制限
	--	--	--	✓
	--	--	--	✓
	--	--	--	✓
--	--	--	✓	
--	--	--	--	

バックアップ対象マシン数 (インスタンス) を課金対象にしたわかりやすいライセンス！



# Backup Execは、バックアップデータの「改ざん・削除」を防止します



**バックアップデータの保管先への  
書き込み権限をBackup Execに限定**

Backup Exec以外からのバックアップデータの保存先への書き込みを制限



**Backup Execになりすました  
バックアップデータへの  
不正アクセスを防止**

不正コードの注入を判別し、Backup Execになりすましたバックアップデータへの不正アクセスを防止



**サードパーティのWORMと  
連携したバックデータの  
改ざん／削除防止**

WasabiのオブジェクトロックストレージやAWS S3のオブジェクトロックストレージなどと連携して、バックアップデータの改ざん／削除を防止

**Backup Execは、バックアップデータをランサムウェアの暗号化、不正アクセスから守ります**

# Backup Execの異常検出について (Anomaly Detection)



- **バックアップデータの異常を検出します**
- **バックアップのパターンを学習。以下の情報をもとに、統計のズレを検出したらアラート**
  - バックアップイメージのサイズ
  - バックアップファイルの数
  - バックアップデータの重複排除率
  - バックアップジョブの所要時間
  - データ転送のサイズ
- **予兆を早くキャッチすることで素早い対応が可能**  
例: 対象マシンをバックアップ対象から外す、  
ネットワークから切り離すなど



さらにこの後説明するBackup Exec 23の最新リリースでは  
Malware Detectionにも対応します！  
(バックアップデータにマルウェアなどが潜んでないかをリストア前にチェック)

# Agenda

## 1. Backup Execの概要（おさらい）

## 2. Backup Exec 23のご紹介

- **Backup Exec 23のリリース概要**
- 仮想マシンバックアップセットのマルウェアスキャン
- 役割ベースのアクセス制御（RBAC）
- 仮想マシンのマルチストリームバックアップ
- M365の機能強化：SharePoint Onlineのリストア
- 対応言語の削減
- 参考情報

# 今回のリリースについて（2024年3月4日GA）



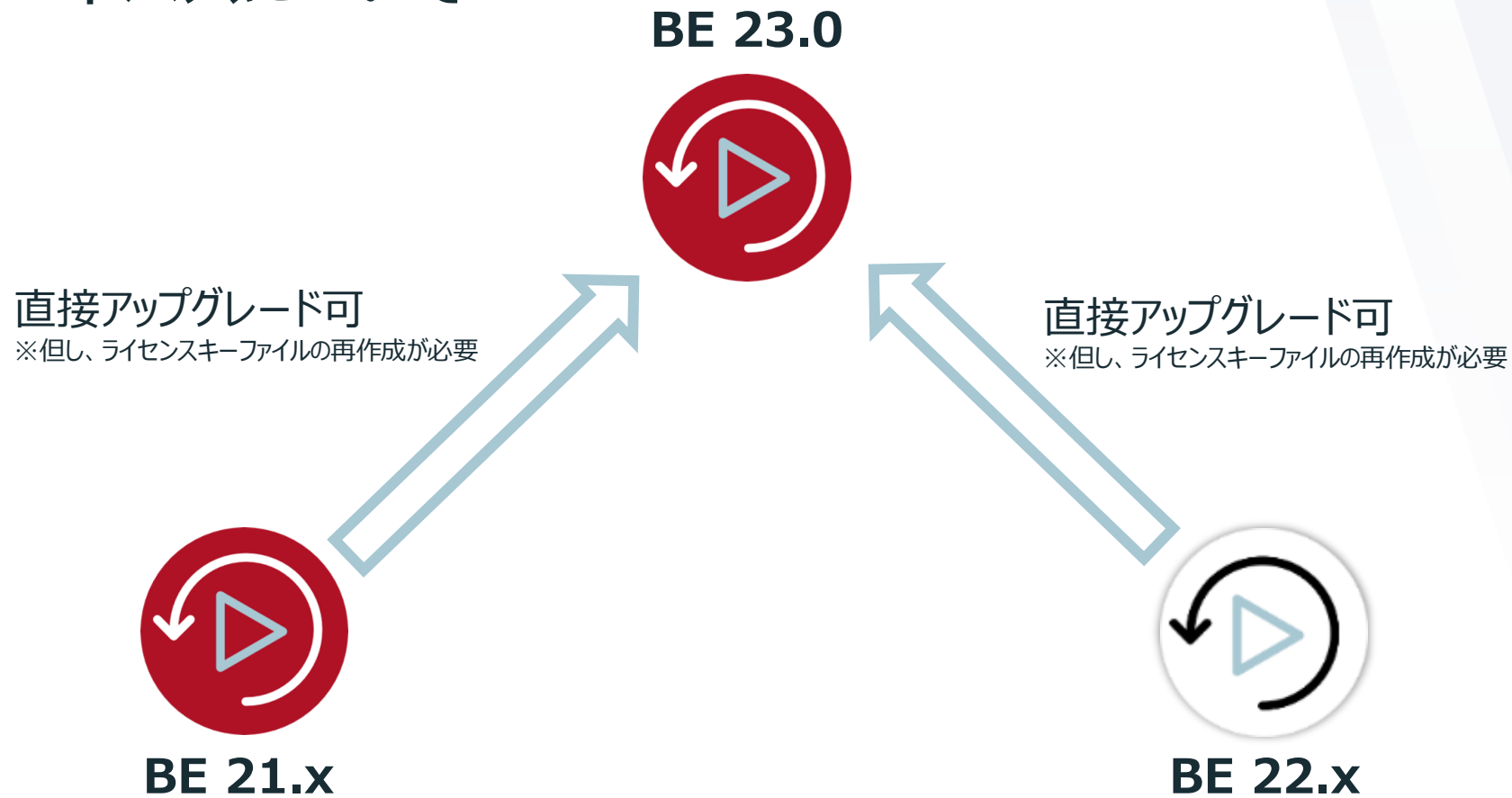
- Backup Exec

- 対外向けの資料にはバージョン番号は記載しない（バージョンレス）
- 但し、内部向けにはバージョン番号の確認が必要となるため、従来通り、「ヘルプ」→「Veritas Backupのバージョン情報」などからバージョン確認できるようにする

- ライセンスキーファイル(.slfファイル) は、Backup Exec 23用が必要

- Backup Exec 22.x用のライセンスキーファイルは、Backup Exec 23では使えない  
VEMS（ベリタスのライセンスポータル）から新たなライセンスキーファイルの作成が必要

# アップグレードパスについて



段階アップグレードは非推奨

M365の保護を行うためには、  
BEシンプルライセンス（サブスク）が必要

# Backup Exec 23.0リリース内容

## 新機能

- 仮想マシンバックアップセットのマルウェアスキャン
- 役割ベースのアクセス制御 (RBAC)
- 仮想マシンのマルチストリームバックアップ
- M365機能強化  
SharePoint Onlineのリストア
- 対応言語の削減

## OS/ストレージ/リージョン対応

- クラウドリージョン対応
  - Amazon: メルボルン
  - Amazon: ハイデラバード
  - Amazon: チューリッヒ
  - Amazon: スペイン
  - Google: トリノ
  - Google: ドーハ
- クラウドストレージ対応
  - NetApp ONTAP S3 cloud storage
- OS対応
  - Oracle Linux 9.3
  - RHEL 9.3
  - Debian 12.4
  - Ubuntu 23.4

# Agenda

1. Backup Execの概要（おさらい）
2. Backup Exec 23のご紹介
  - Backup Exec 23のリリース概要
  - **仮想マシンバックアップセットのマルウェアスキャン**
  - 役割ベースのアクセス制御（RBAC）
  - 仮想マシンのマルチストリームバックアップ
  - M365の機能強化：SharePoint Onlineのリストア
  - 対応言語の削減
  - 参考情報



# サイバーレジリエンシー： 仮想マシンバックアップセットのマルウェアスキャン

- リストア前に仮想マシンのバックアップセットをスキャンすることで、感染したデータをリストアしてしまうリスクを最小限に抑え、クリーンで安全な環境を維持
- データ復元時にマルウェアの再導入を防止することで、ダウンタイムの短縮、データ破損やセキュリティ侵害の可能性を最小限に抑える
- マルウェアスキャンの適用範囲
  - **VMware/Hyper-Vエージェント**で取得した仮想マシンバックアップ
  - 仮想マシン全体のリストア、仮想マシン内の特定のファイル・フォルダのリストア（GRT）、またはオンデマンド（手動）で行うことができる
- マルウェアスキャンに使用するスキャンエンジンはWindows Defenderのみに対応（他のエンジンは将来予定している）
- **物理マシンから取得したバックアップまたは仮想マシンであっても仮想マシンにリモートエージェントを導入した方法（つまり物理マシンと同様の取り方）で取得したバックアップは、マルウェアスキャンに対応していない**



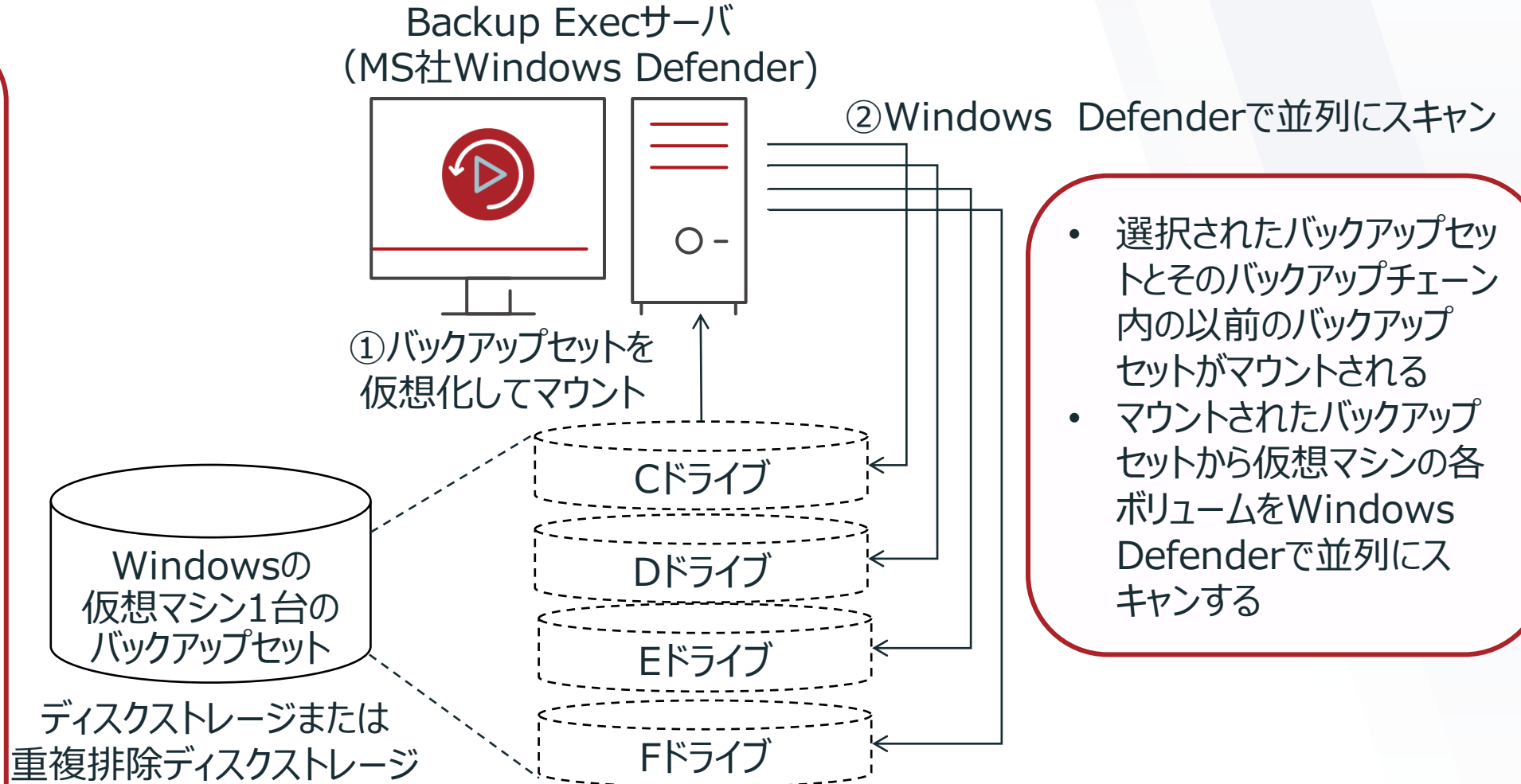


## 仮想マシンバックアップセットのマルウェアスキャンを使用するためのシステム要件

- Backup ExecサーバまたはMBES (集中管理サーバ構成のBEサーバ) が稼働するOSは **Windows Server 2016以上**が必要
- **Microsoft Windows Defender**をBackup ExecサーバまたはMBESで**有効**にしておく
- **VMware/Hyper-Vエージェント**のライセンスまたは同等のオプションが含まれたライセンスが必要 (例: BE Simple License)
- マルウェアスキャンの対象は**Windowsの仮想マシン**に限る (例: Linuxやその他のほかのゲストOSを搭載した仮想マシンは対象外)
- **ディスクストレージまたは重複排除ディスクストレージ**が必要 (ここに置かれたバックアップセットからスキャンを行うため)
  - OST、ディスクカートレッジ、USB、クラウドストレージ、VTLやテープ装置に保管したバックアップセットは、スキャン対象外
  - 但しこれらに保管したバックアップセットをディスクストレージに複製すれば、スキャンは可能

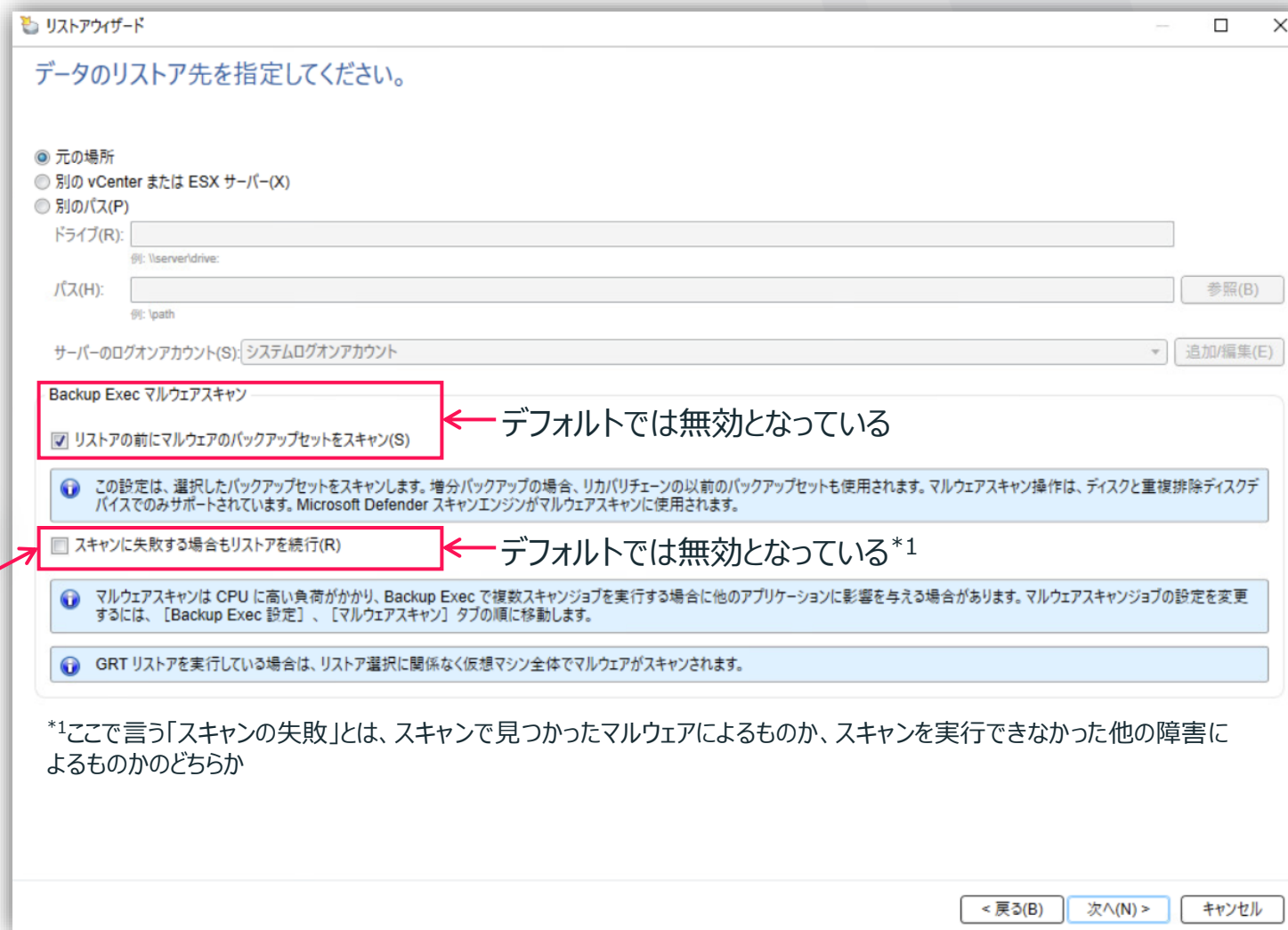
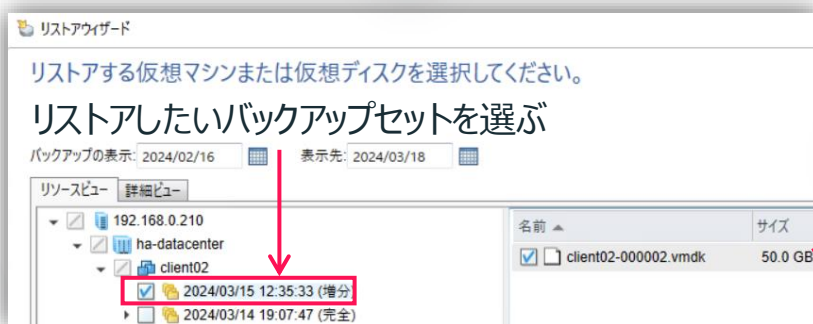
# マルウェアスキャンの仕組み

- 並列処理は、仮想マシン1台のバックアップセットに対して行われる。
- 複数台の仮想マシンに対する処理は、従来通り、シーケンシャルで行われる
- たとえ一つのファイルをリストアする場合でも、仮想マシンのバックアップセット全体をスキャンしなければならない



- 選択されたバックアップセットとそのバックアップチェーン内の以前のバックアップセットがマウントされる
- マウントされたバックアップセットから仮想マシンの各ボリュームをWindows Defenderで並列にスキャンする

# 仮想マシン全体のリストア時のマルウェアスキャンの設定

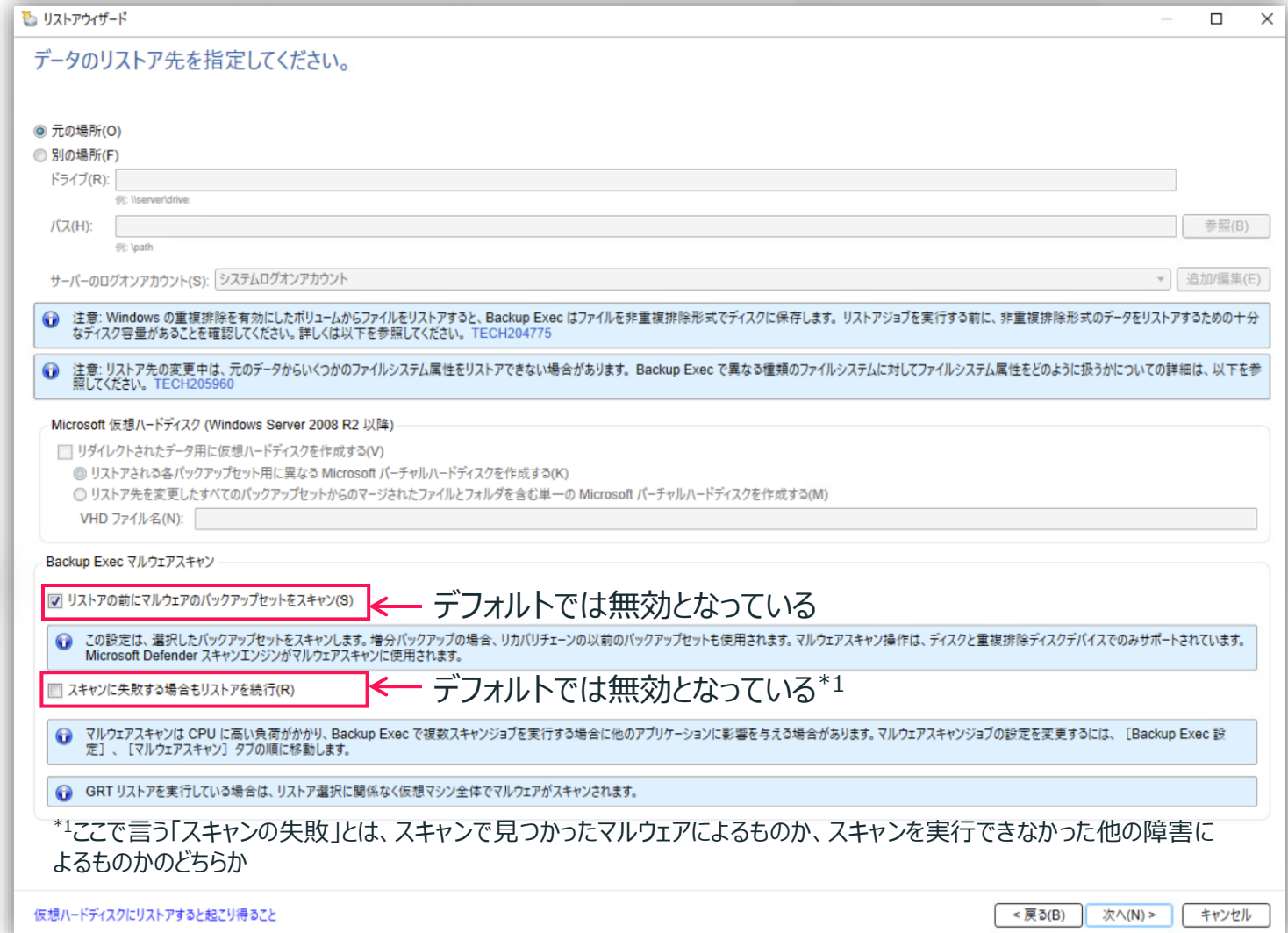
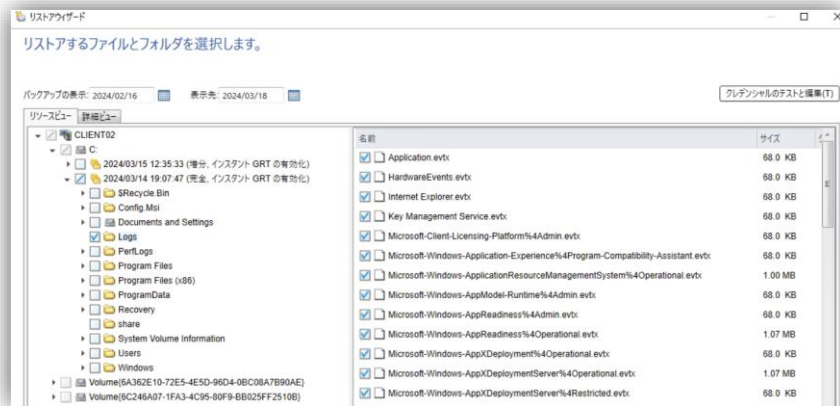


\*1ここで言う「スキャンの失敗」とは、スキャンで見つかったマルウェアによるものか、スキャンを実行できなかった他の障害によるものかのどちらか

# 仮想マシン内ファイル・フォルダ(GRT)のリストア時のマルウェアスキャンの設定



仮想マシン内でリストアしたいファイル・フォルダを選ぶ



リストアの前にマルウェアのバックアップセットをスキャン(S) ← デフォルトでは無効となっている

スキャンに失敗する場合もリストアを続行(R) ← デフォルトでは無効となっている\*1

\*1ここで言う「スキャンの失敗」とは、スキャンで見つかったマルウェアによるものか、スキャンを実行できなかった他の障害によるものかのどちらか

# マルウェアスキャンの実行

マルウェアスキャンを有効にしてリストアを開始すると、まずマルウェアスキャンが行われる。仮想マシンにマウントされているそれぞれのボリュームをスキャンする。この例では仮想マシンにマウントされている3つボリューム（回復パーティション、EFIシステムパーティション、Cドライブ）をそれぞれスキャンしている

Veritas Backup Exec™

ホーム バックアップとリストア **ジョブモニター** ストレージ レポート インスタントクラウドリカバリ

標準 ツリー表示  
コンパクト ソートとフィルタ リスト表示  
ビュー バックアップ リストア

バックアップカレンダー リストア 編集 削除 キャンセル 優先度 今すぐ実行 失敗したリソースのみ再試行 保留 テスト実行 ジョブのアクティビティ

ジョブ - 3 項目

名前	サーバー	ストレージ	ジョブの種類	状態	ジョブの状態
192.168.0.210 バックアップ 0...	192.168.0.210		バックアップ		
192.168.0.210 バックア...	192.168.0.210	重複排除用ディスク...	増分バックアップ	スケジュール済み	保留
192.168.0.210 バックア...	192.168.0.210	重複排除用ディスク...	完全バックアッ...	スケジュール済み	保留
192.168.0.210 リストア 00006	192.168.0.210		リストア	実行中	動作中: 2個(3個中)のボリュームが処理されました-マルウェアスキャン

「進捗率」はあくまでもスキャンした  
ボリュームの数に対しての進捗をあらわ  
している

ジョブのアクティビティ

ジョブのアクティビティ ジョブ履歴

192.168.0.210 リストア 00006 ジョブのキャンセル(J)

ジョブ名: 192.168.0.210 リストア 00006  
ジョブの種類: リストア  
ジョブログ: BEX\_BESVR01\_00009.xml  
状態: 2個(3個中)のボリュームが処理されました  
現在の操作: マルウェアスキャン  
サーバー名: \BESVR01  
ストレージ:

合計ボリューム: C: Volume {6A362E10-72E5-4E5D-96D4-0BC08A7B90AE} Volume{6C246A07-1FA3-4C95-80F9-BB025FF2510B}  
スキャン済みボリューム: Volume {6A362E10-72E5-4E5D-96D4-0BC08A7B90AE} Volume{6C246A07-1FA3-4C95-80F9-BB025FF2510B}

統計情報

2 / 3 個のボリュームを処理済み | 感染ファイルの合計数: 0

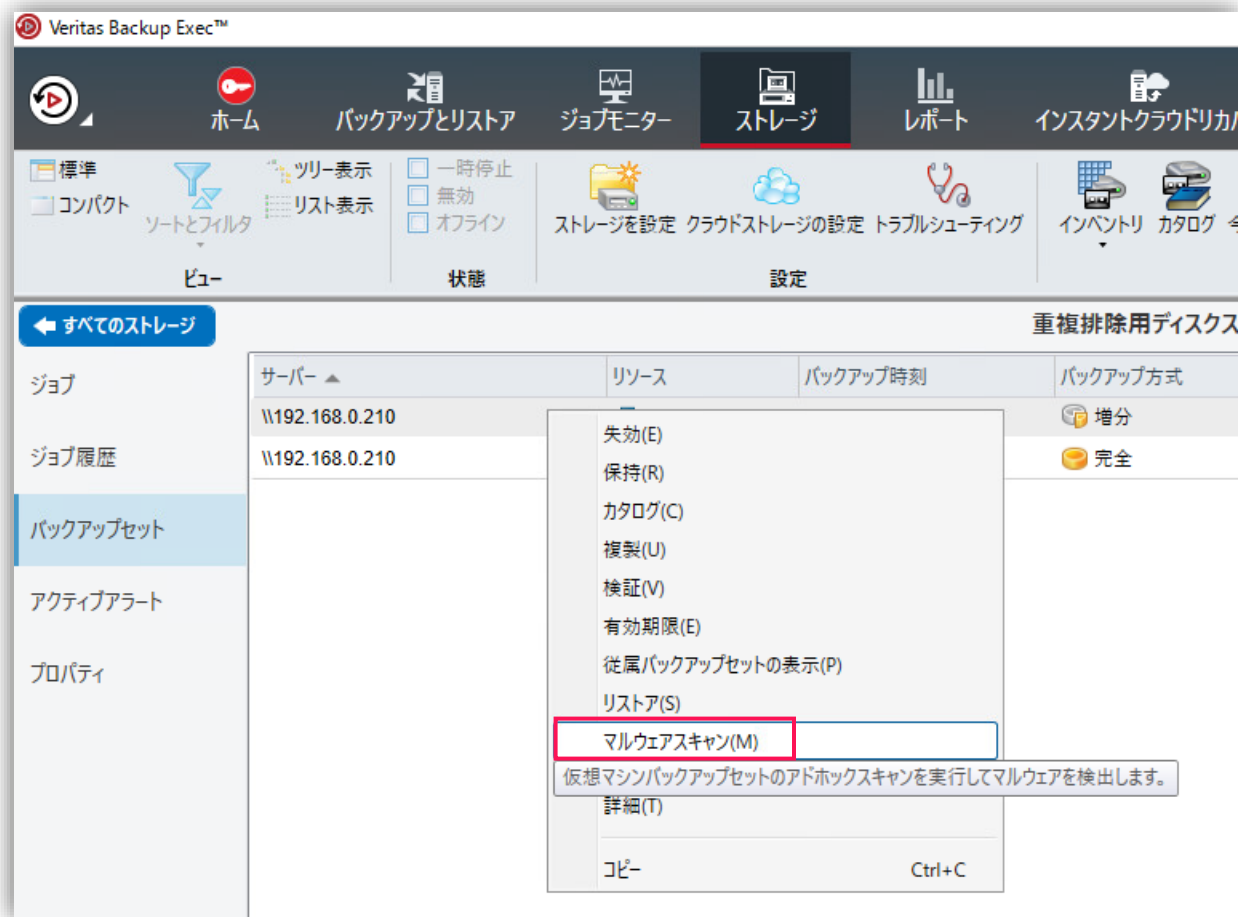
進捗率: 66%

スループット:  
バイト: 0 バイト  
開始時刻: 2024/03/17 13:59:22  
経過時間: 00:04:27

総バイト数 (概算):  
残り時間 (概算):

ヘルプ(H) 閉じる

# マルウェアキャンを手動で実行



バックアップセットを右クリックで選び、  
「マルウェアスキャン」を選ぶ

マルウェアスキャンジョブごとに選択できる  
バックアップセットは1つだけ

# マルウェアスキャン画面

マルウェアスキャン

マルウェアスキャンは選択したバックアップセットで実行されます。増分バックアップの場合、リカバリチェーンの以前のバックアップセットも使用されます。

バックアップセット

スケジュール

通知

ジョブ名(J): マルウェアスキャン 00001

バックアップセットの詳細

増分 / \\192.168.0.210-client02  
2024/03/15 12:35:33  
重複排除用ディスクストレージ 0001

バックアップセットチェーンの詳細

バックアップのソース	バックアップ方式	バックアップ時刻	ストレージ名	ストレージ
client02	完全	2024/03/14 19:07:47	重複排除用ディスクストレージ 0001	重複排除用ディスクストレージ
client02	増分	2024/03/15 12:35:33	重複排除用ディスクストレージ 0001	重複排除用ディスクストレージ

マルウェアスキャンの対象となっているバックアップセットと関連付けされているバックアップチェーンが表示される。これらがスキャンの対象となる。

リカバリチェーンの以前のセットがマルウェアスキャンに使用されますが、選択したバックアップセットのみがスキャン済みとマークされます。Microsoft Defender スキャンエンジンがマルウェアスキャンに使用されます。

バックアップセットのスキャンは CPU に高い負荷がかかり、Backup Exec で複数スキャンジョブを実行する場合に他のアプリケーションに影響を与える場合があります。マルウェアスキャンジョブの設定を変更するには、[Backup Exec 設定]、[マルウェアスキャン] タブの順に移動します。

ヘルプ(H) OK キャンセル

# Microsoft Defenderの有効化を促すメッセージ

- Microsoft Defenderの有効化を促すメッセージが度々表示される。毎回表示してほしくないときは「今後、このメッセージを表示しない」にチェックを入れる。



<Windows Defenderを有効にするための手順はこちら>

[How to configure Windows Defender to scan Virtual Machine Backup sets with Backup Exec Malware scanner \(veritas.com\)](https://www.veritas.com/docs/100060575)



# マルウェアスキャンのジョブ

他のジョブと同様、マルウェアスキャンもジョブとしてジョブモニターに表示される

The screenshot shows the Veritas Backup Exec Job Monitor interface. The 'ジョブモニター' (Job Monitor) tab is selected. A table lists active jobs, with the 'マルウェアスキャン 00001' (Malware Scan 00001) job highlighted in red. The job status is '実行中' (Running) and the progress is '動作中: 1 個 (3 個中) のボリュームが処理されました-マルウェアスキャン' (Processing: 1 of 3 volumes).

名前	サーバー	ストレージ	ジョブの種類	状態	ジョブの状態
192.168.0.210 バックアップ 0...	192.168.0.210		バックアップ		
192.168.0.210 バックア...	192.168.0.210	重複排除用ディスクス...	増分バックアップ	スケジュール済み	保留
192.168.0.210 バックア...	192.168.0.210	重複排除用ディスクス...	完全バックアッ...	スケジュール済み	保留
マルウェアスキャン 00001	192.168.0.210	重複排除用ディスクス...	マルウェアスキャン	実行中	動作中: 1 個 (3 個中) のボリュームが処理されました-マルウェアスキャン

The screenshot shows the 'ジョブのアクティビティ' (Job Activity) window for 'マルウェアスキャン 00001'. It displays job details such as 'ジョブ名: マルウェアスキャン 00001', 'ジョブの種類: マルウェアスキャン', and 'ジョブログ: BEX\_BESVR01\_00006.xml'. It also shows a progress bar for '2 / 3 個のボリュームを処理済み' (2 of 3 volumes processed) with a completion rate of 66%.

統計情報  
2 / 3 個のボリュームを処理済み | 感染ファイルの合計数: 0  
進捗率: 66%

こちらは「ストレージ」からのビュー

The screenshot shows the Veritas Backup Exec Storage view. The 'ストレージ' (Storage) tab is selected. A table lists storage configurations, with the '重複排除用ディスクストレージ 0001' (Deduplication Disk Storage 0001) configuration highlighted in red. The job 'マルウェアスキャン 00001' is shown as running on this storage with a progress of 00:31:02.

名前	状態	ストレージの種類	アクティブアラート	スト...	容量	実行中とスケジュール設定済みのジョブ
ディスクストレージ 0001	オンライン	ディスクスト...	1 ストレージ情...	利...	113 MB/100 GB を使用	
重複排除用ディスクストレージ 0001	オンライン	重複排除...			21.7 GB/99 GB を使用	マルウェアスキャン 00001 00:31:02

# 実行中のマルウェアスキャンジョブ

マルウェアスキャンのジョブが実行されている間、バックアップセットは「使用中」の状態となる。この間、Backup ExecのDLM (Data Lifecycle Management)によるバックアップセットの保持期限切れの機能も保留となる

ジョブ	バックアップ方式	ストレージ	有効期限	サイズ	保持	保持理由	検
ジョブ履歴	増分	重複排除用ディスク	2024/03/22 12:37:58	2.22 GB	システム定義	完全ジョブの統合用に保持, マルウェアスキャンジョブにより使用中	
バックアップセット	完全	重複排除用ディスク	2024/03/21 19:16:18	21.6 GB	システム定義	完全ジョブの統合用に保持, マルウェアスキャンジョブにより使用中	

マルウェアスキャンのジョブが完了すると、バックアップセットが解放されて、再びDLMが働きます

# マルウェアの検出

「ジョブ履歴」からのビュー。マルウェアを検出するとジョブは失敗する

ジョブ履歴 - 5 項目											
名前	サーバー	ストレージ	ジョブの種類	ジョブの状態	進捗率	開始時刻	終了時刻	経過時間	バイト数	スループット	エラーコード
192.168.0.210 リストア 0...	192.168.0.210	重複排除用ディスクストレージ 0001	リストア	成功	100%	2024/03/17 1...	2024/03/17 1...	00:21:35	22.0 GB	4,496.00 MB/分	
マルウェアスキャン 00001	192.168.0.210	重複排除用ディスクストレージ 0001	マルウェアスキャン	失敗	0%	2024/03/15 1...	2024/03/15 1...	00:37:18	23.9 GB	1,466,095.00...	E000E20B

「ストレージ」からのビュー

Veritas Backup Exec™

ホーム バックアップとリストア ジョブモニター **ストレージ** レポート インスタントクラウドリカバリ

標準 コンパクト ツリー表示 リスト表示 一時停止 無効 オフライン

ビュー 状態 設定 ストレージ操作 バックアップセット

← すべてのストレージ 重複排除用ディスクストレージ 0001 詳細

ジョブ	サーバー	リソース	バックアップ時刻	バックアップ方式	ストレージ	有効期限	サイズ	保持	マルウェアスキャン時刻	マルウェアスキャンの状態
ジョブ	192.168.0.210	client02	2024/03/15 12:35:33	増分	重複排除用ディスクストレージ	2024/03/22 12:37:58	2.22 GB	システム定義	2024/03/15 13:18:46	マルウェア検出
ジョブ履歴	192.168.0.210	client02	2024/03/14 19:07:47	完全	重複排除用ディスクストレージ	2024/03/21 19:16:18	21.6 GB	システム定義	2024/03/17 14:20:16	マルウェア未検出

バックアップセット  
アクティブアラート  
プロパティ

# ジョブログの出力結果

マルウェアスキャンを実行した結果の詳細はジョブログに出力される

- 「スキャンセット情報」では、マルウェアスキャンを実行した条件が表示される  
(例:使用したDefenderのバージョン等)
- 「スキャンセットの詳細」では各ボリュームをスキャンした結果が表示される  
(開始時間、結果など)
- 「スキャンセットの概略」ではスキャン全体の結果が表示される

ジョブ履歴 ジョブログ

ジョブ - リストア

マルウェアスキャン操作はリストアジョブの一部として実行されます。

サーバー - CLIENT02

ドライブおよびメディアのマウントが要求されました: 2024/03/17 22:36:27

メディアマウントからのドライブおよびメディア情報: 2024/03/17 22:36:36  
ドライブ名: 重複排除用ディスクストレージ 0001:2  
メディアラベル: OST00000010-402CCB735612F92F  
メディア GUID: {91c09537-e0f8-4494-a6d7-6c36d8be90a0}

すべての使用メディア  
OST00000010-402CCB735612F92F

IMG000001

セットの情報 - %CLIENT02%:

スキャンセット情報

バックアップセット : 2024/03/14 19:07 - 完全  
Microsoft Defender がスキャンに使用されます  
ウイルス対策最終更新時刻 : 2024/03/17 6:39:57  
ウイルス対策エンジンバージョン : 1.1.24020.9  
ウイルス対策署名バージョン : 1.407.485.0  
並列スレッドの数 : 5  
マルウェアスキャンジョブに、利用可能な CPU の最大の割合を使用することを許可します: はい  
スキャンが失敗した場合もリストアを続行します: はい



スキャンを 2024/03/17、22:36 に開始

スキャンセットの詳細

セットの情報 - Volume{6A362E10-72E5-4E5D-96D4-0BC08A7B90AE}

セットの情報 - Volume{6C246A07-1FA3-4C95-80F9-BB025FF2510B}

セットの情報 - C:

ボリュームスキャン開始時刻 : 2024/03/17、22:38  
ボリュームスキャン終了時刻 : 2024/03/17、22:52  
ボリュームスキャン総所要時間 : 0 時間、14 分、18 秒  
マルウェア数 : 0  
スキャンの状態 : 完了、マルウェア未検出。  
スキャン出力 :

Scan starting...  
Scan finished.  
Scanning E:\TEMP\Backup Exec\{8ac336b3-baeb-4bf7-8a5c-13082fd5b1e8}\MFP00\ found no threats.

スキャンを 2024/03/17、22:52 に完了

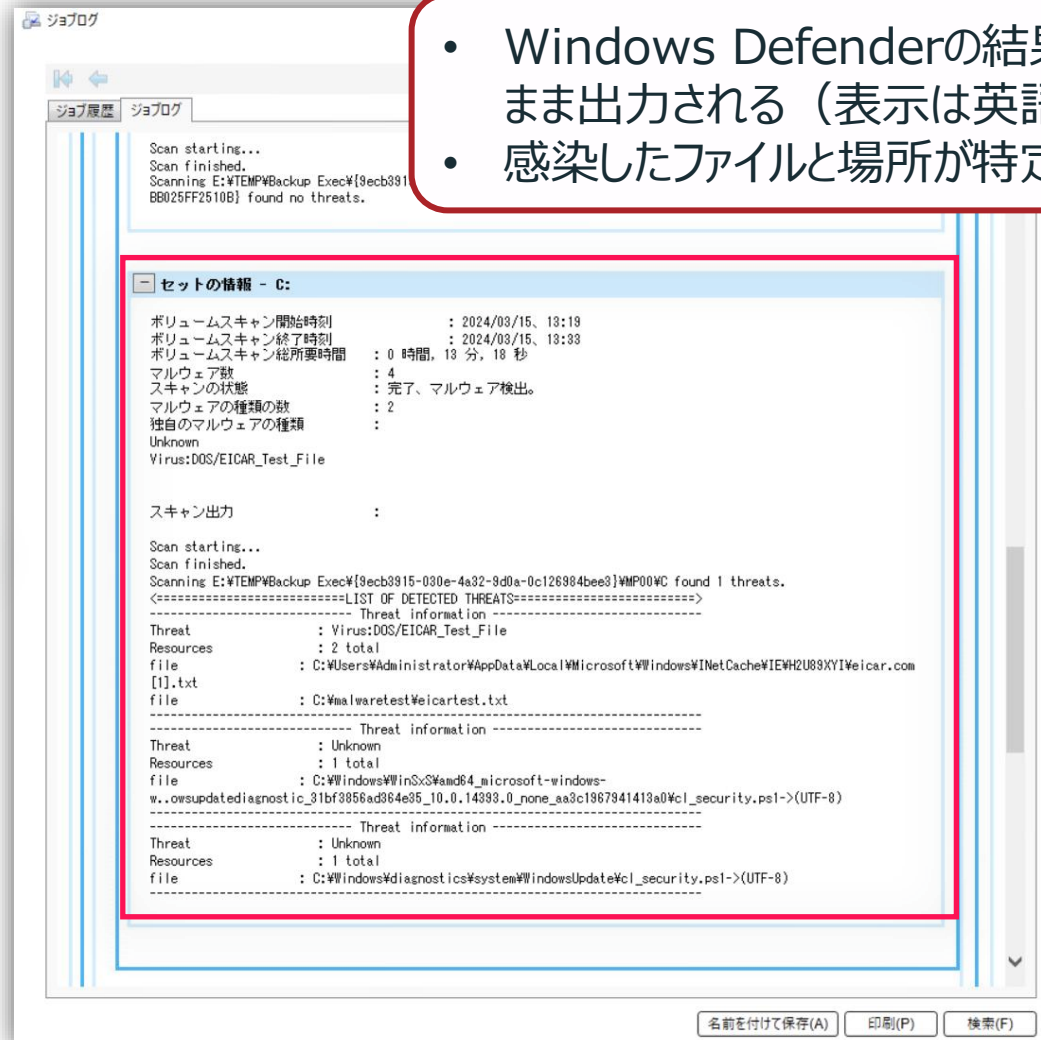
スキャンセットの概略

総所要時間 : 0 時間、15 分、40 秒  
スキャンの状態 : 完了、マルウェア未検出。  
マルウェア数 : 0

メディアマウントからのドライブおよびメディア情報: 2024/03/17 22:52:27  
ドライブ名: 重複排除用ディスクストレージ 0001 (¥\$.pdfs\BESVR01\2\BESData\STHYMDK\IMG000001)  
メディアラベル: IMG000001  
メディア GUID: {e06943db-df2e-4ccb-acf1-ce5e93409664}

# ジョブログの出力結果（マルウェア検出時）

## ジョブログの出力結果



- Windows Defenderの結果がそのまま出力される（表示は英語のみ）
- 感染したファイルと場所が特定できる

# マルウェアが含まれたバックアップセットからのリストア

The screenshot shows the Veritas backup software interface. A dialog box titled "リストア" (Restore) is displayed, warning that the selected backup set may contain malware. The dialog text reads: "マルウェアに感染したバックアップセットからリストアします" (Restore from a backup set infected with malware). It asks for confirmation to proceed with the restore operation. Below the dialog, a "監査ログ" (Audit Log) window is open, showing a log entry for the restore job performed on 2024/03/17 at 23:37:32 by user BESVR01 Administrator. The log message states: "「192.168.0.210 リストア 00011」リストアジョブがマルウェアを含むバックアップセットとともに送信されました。" (The restore job for 192.168.0.210 was sent with a backup set containing malware).

リストアする仮想マシンまたは仮想ディスクを選択してください。

バックアップの表示: 2024/02/16 表示先: 2024/03/18 クレデンシャルのテストと編集(T)

リソースビュー 詳細ビュー

バックアップ日時	サイズ	バックアップ方式	ストレージ	説明
<input checked="" type="checkbox"/> 2024/03/15 12:35:33		増分	重複排除用ディスク	
<input type="checkbox"/> 2024/03/14 19:07:47		完全	重複排除用ディスク	

リストア

**!** マルウェアに感染したバックアップセットからリストアします

リストア用に選択したバックアップセットにマルウェアが含まれている可能性があります。リストアを実行する前に、マルウェアスキャン結果を評価することをお勧めします。リストア操作を続行しますか?

仮想マシン: client02、最終スキャン日時: 2024/03/17 6:48:25

はい(Y) いいえ(N)

監査ログ

表示するカテゴリの選択(V): ジョブ

日時	ユーザー名	カテゴリ	メッセージ
2024/03/17 23:37:32	BESVR01 Administrator	ジョブ	「192.168.0.210 リストア 00011」リストアジョブがマルウェアを含むバックアップセットとともに送信されました。

更新(R)  
カテゴリログの消去(C)  
ログをファイルに保存(S)

- マルウェア検出済みのバックアップセットを使って、リストアを試みようとすると、このようなメッセージが表示される

- 監査ログにも、マルウェアが含まれたバックアップセットからリストアが行われた記録が残る

# レポート機能

- 新たに「マルウェアスキャンの概略」レポートが用意されている

レポートの作成 - マルウェアスキャンの概略

バックアップ済みのサーバー  
範囲

マルウェアスキャンの状態

- マルウェア検出
- マルウェア未検出
- スキャン未完了
- スキャン失敗



Veritas Backup Exec™

## マルウェアスキャンの概略

リソース数: \\CLIENT02\C:

バックアップセット	ジョブの種類	スキャン時刻	スキャン期間	スキャンの状態	マルウェア数	独自のマルウェアの種類	マルウェアの種類の数
2024/03/15 12:35 - 増分	リストア	2024/03/17 15:48:25	00:11:16	マルウェア検出	4	Unknown,Virus:DOS/EICAR_Test_File	2
2024/03/14 19:07 - 完全	リストア	2024/03/17 22:36:46	00:15:40	マルウェア未検出	0		0

リソース数: VMVCB::\\192.168.0.210\VCGuestVm(DC)ha-datacenter(DC)\vm\client02

バックアップセット	ジョブの種類	スキャン時刻	スキャン期間	スキャンの状態	マルウェア数	独自のマルウェアの種類	マルウェアの種類の数
2024/03/15 12:35 - 増分	マルウェアスキャン	2024/03/15 13:18:46	00:14:31	マルウェア検出	4	Unknown,Virus:DOS/EICAR_Test_File	2
2024/03/14 19:07 - 完全	リストア	2024/03/17 14:20:16	00:15:06	マルウェア未検出	0		0

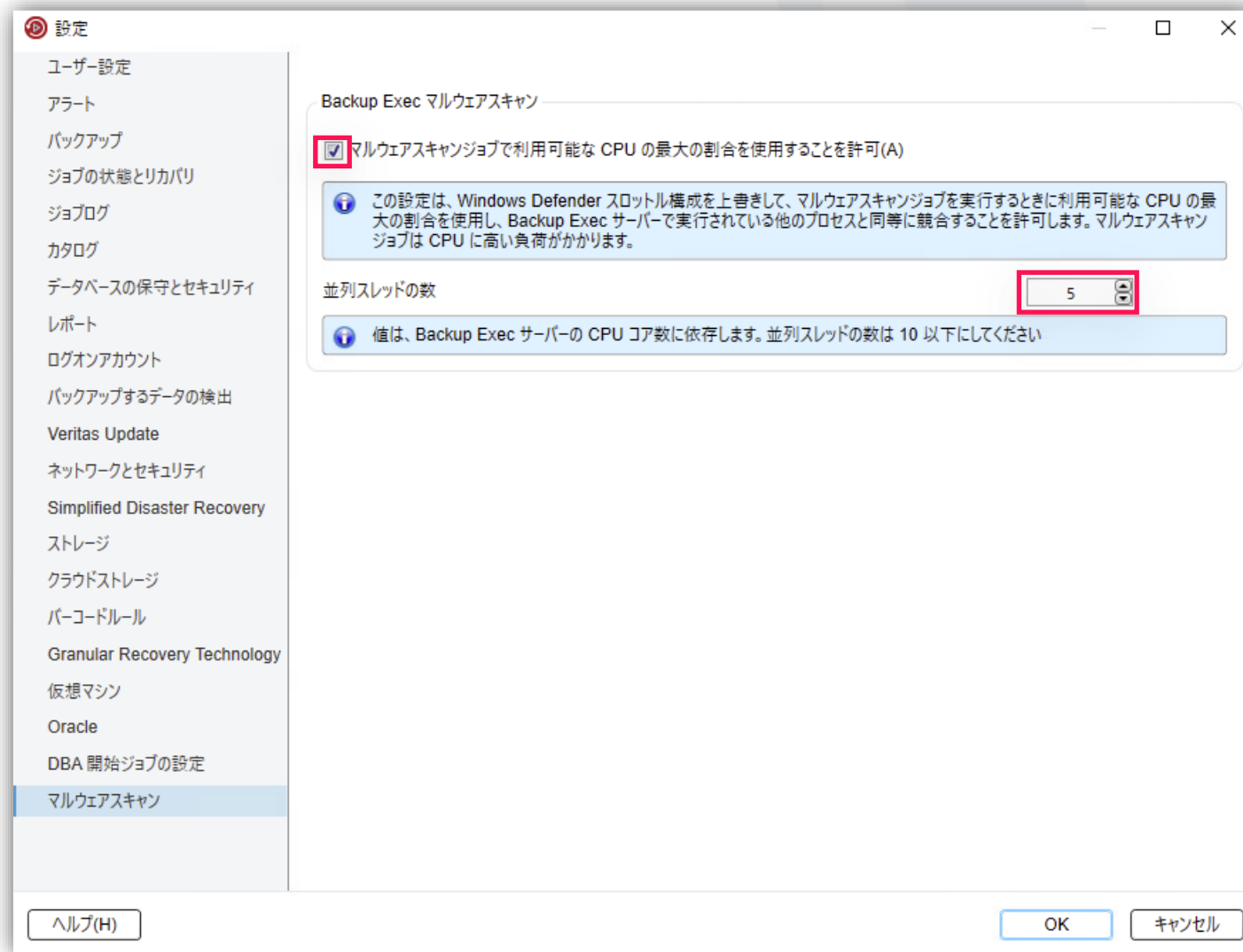
報告日: 2024/03/17 23:59:48

このレポートは Backup Execによって生成されました。

# マルウェアスキャンに関する設定

- デフォルトでは、マルウェアスキャンジョブは、CPUを最大まで使用するよう設定されている
- 右のチェックを外した場合、Microsoft DefenderのPolicyで設定した割合に従う  
(デフォルトでは50%)

- こちらの並列スレッド数の設定により、仮想マシンの複数ボリュームを並列でスキャンすることができる
- この値はBEサーバに搭載されているCPUのコア数に依存するが、コア数が10以上を搭載したサーバであっても、最大「10」までの設定が限度





# マルウェアスキャンに関するベストプラクティス

- Backup Execサーバ上にWindows Defender以外のウイルススキャンソフトは実行しないこと
- マルウェアスキャン機能を使用する場合、Backup Execサーバに導入されているWindows Defenderのウィルスパターンファイルは定期的に更新しておくこと
- 一度に複数のマルウェアスキャンジョブを実行しないこと。また、他のバックアップが行われている最中に実施すると、バックアップに影響を及ぼすため、なるべくバックアップウィンドウ内では実行しないこと
- マルウェアスキャンジョブはCPUに高負荷がかかり、スキャン対象のデータ量が多い場合、それなりに時間がかかる
  - 例：弊社クラウド環境で取得した20GB程度の仮想マシンのバックアップ（フル+増分1回分）をスキャンするのに10分ほどかかり、CPU利用率も70%ほど増えた

# 役割ベースのアクセス制御 (RBAC)



# 役割ベースのアクセス制御(RBAC)



管理者

すべての操作が  
可能

ストレージ管理者

ストレージ関連の  
操作：ストレージ  
の作成/削除、  
インベントリ、カタログ、  
レポートの新規作成

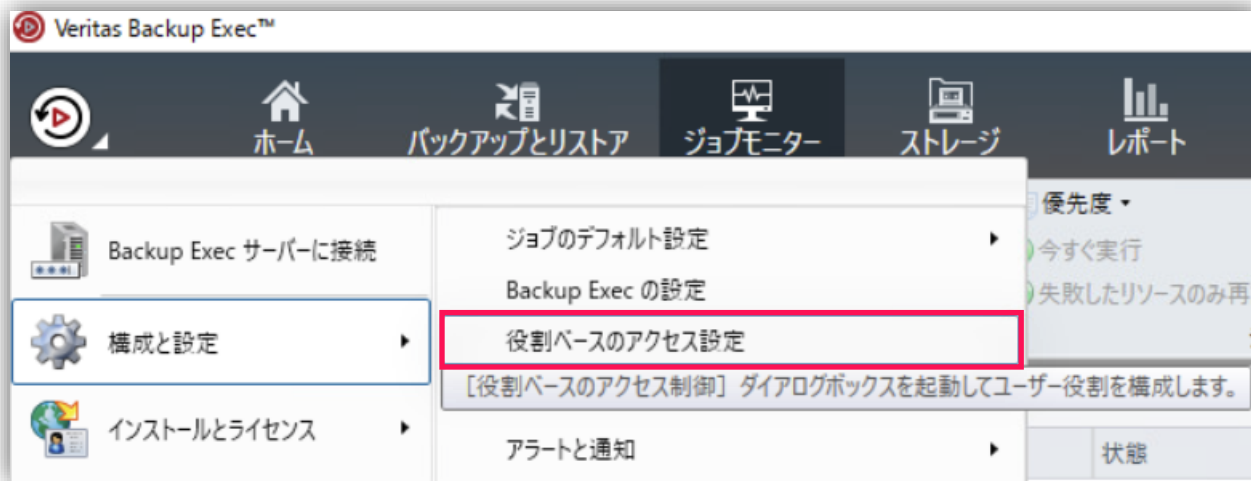
バックアップとリストア

バックアップとリストアに  
関連する操作：  
バックアップ、リストア  
ジョブの作成/実行/  
削除/編集、  
レポートの新規作成

表示のみ

参照権限のみ。  
既存レポートの実行

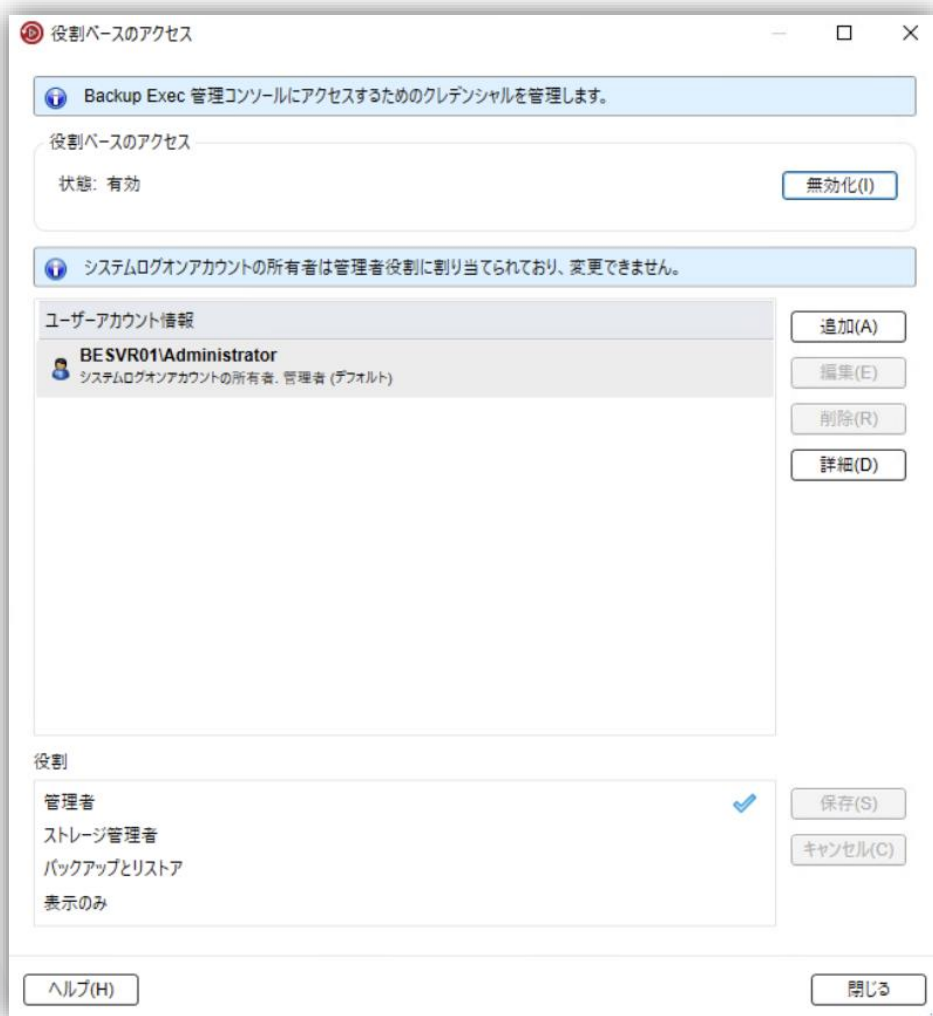
# RBACを有効にするには



- RBACは、システムログオンアカウント（SLA）のクレデンシャル情報を入力することで有効にできる（デフォルトでは無効）



# RBACを有効にするには



- クレデンシャル情報が確認されると、SLAの所有者がデフォルトでRBACの管理者となる

- RBACを有効にすると、RBACリストに追加された有効なユーザーだけがBEコンソールにログインしたり、BEMCLIを実行することができる

# ユーザの追加

管理者ロールのユーザーであれば誰でも、RBACのユーザーを追加/編集/削除できる

ユーザーは、ローカルのWindows管理者グループに属している必要がある

役割ベースのアクセス

Backup Exec 管理コンソールにアクセスするためのクレデンシャルを管理します。

役割ベースのアクセス

状態: 有効 無効化(I)

システムログオンアカウントの所有者は管理者役割に割り当てられており、変更できません。

ユーザーアカウント情報

**追加(A)** 編集(E) 削除(R) 詳細(D)

**BESVR01\Administrator**  
システムログオンアカウントの所有者、管理者 (デフォルト)

役割

管理者  保存(S)

ストレージ管理者  キャンセル(C)

バックアップとリストア

表示のみ

ヘルプ(H) 閉じる



役割ベースのアクセス

新しいユーザーの追加

新しいユーザーアカウントを追加して役割を割り当てます。

ユーザーアカウント  検証(V)  
例: ドメインユーザー名

**役割ベースのアクセスの新しいユーザーアカウントを検証できない場合は、管理者のクレデンシャルを指定してターゲットドメインまたはマシンに接続し、ユーザーアカウントの詳細を取得してください。**

ユーザーの詳細を取得するために必要なクレデンシャルのあるターゲットドメインまたはマシンに接続します。(C)

管理者のクレデンシャル

ユーザー名   
例: ユーザー名

パスワード

Windows グループ **管理者**

正常に検証されました

役割の割り当て

管理者

ストレージ管理者

バックアップとリストア

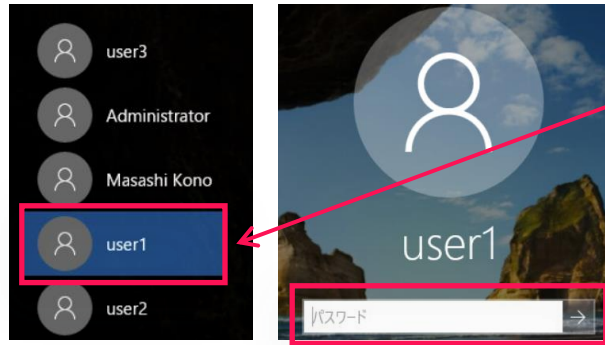
表示のみ

**ユーザーは Windows 管理者グループに属している必要があります。**

ヘルプ(H) 追加 キャンセル

ユーザーに複数の役割を持たせることもできる

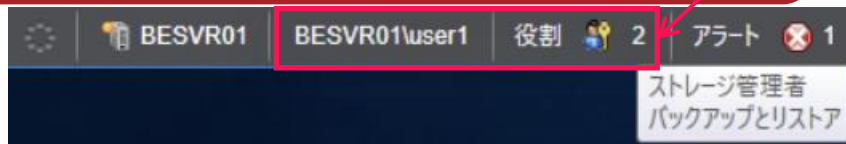
# RBACのユーザインタフェースについて



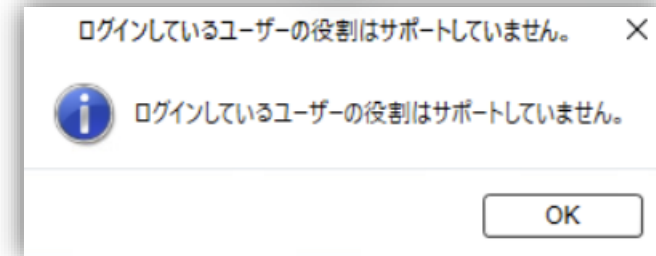
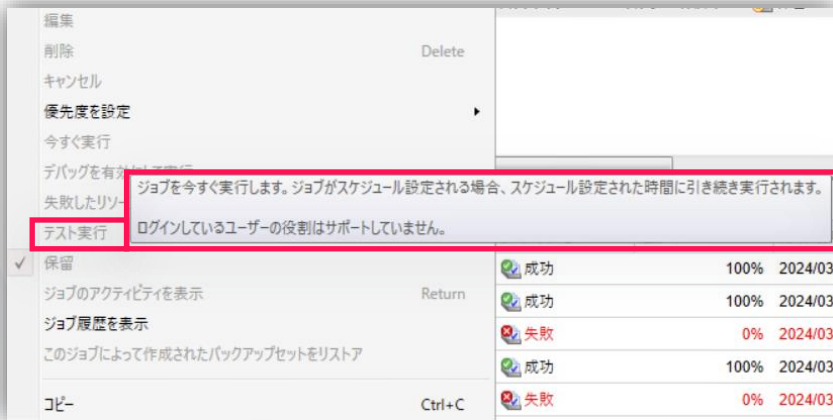
① 役割と紐づいているWindowsアカウントにログインする

- 役割の隣の数字は割り当てられているロールの数
- この例ではuser1には、「ストレージ管理者」と「バックアップとリストア」のロールが割り当てられている

② Backup Execサーバのコンソールを開くと、画面左下のステータスバーにユーザ名と役割が表示される



- 権限を持たない機能は極力グレイアウト表示して機能を無効にしている
- 一部、グレイアウト表示できない機能は、以下のようなポップアップ画面が表示される



# RBACとCAS構成について

- このリリースではRBACは、CAS/MBES構成に対応していない（スタンドアロンのみ）
- スタンドアロンのサーバにRBACを有効にしている場合
  - CASまたはMBESにサーバを変換すると、RBACは無効になる
  - 但し、再びスタンドアロンサーバに変換すると、RBACは有効になる
- ロールをカスタマイズして、新たなロール（役割）を作成することはできない。



# 仮想マシンのマルチストリームバックアップ



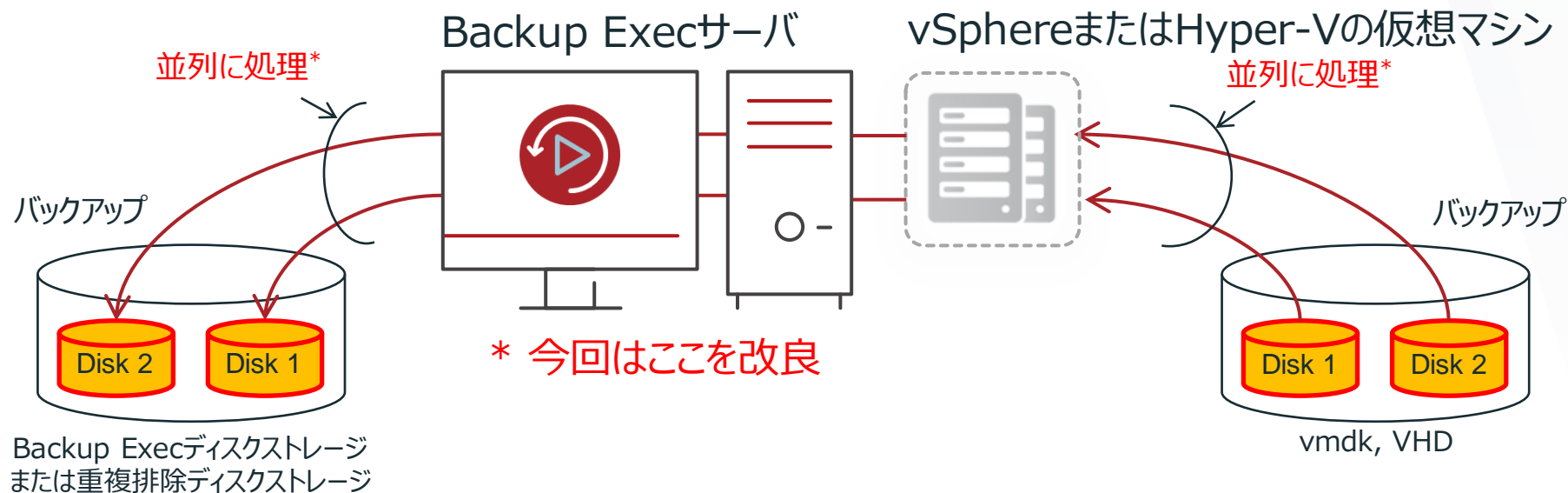
# 仮想マシンのマルチストリームバックアップ

- 仮想マシンに複数の仮想ディスクを使用している場合、これらを並行に、マルチストリームでバックアップすることが可能
- VMware/Hyper-Vの仮想マシンの仮想ディスクが対象
- マルチストリームバックアップは、ディスクまたは重複排除ストレージに格納するバックアップのみが対象

## <メリット>

- 仮想マシンのバックアップの高速化
- スナップショット処理に関わる時間の短縮
- 本番業務への負荷軽減
- ディスクとネットワークI/Oの帯域をより効率的に利用

# 仮想マシンのマルチストリームバックアップのイメージ

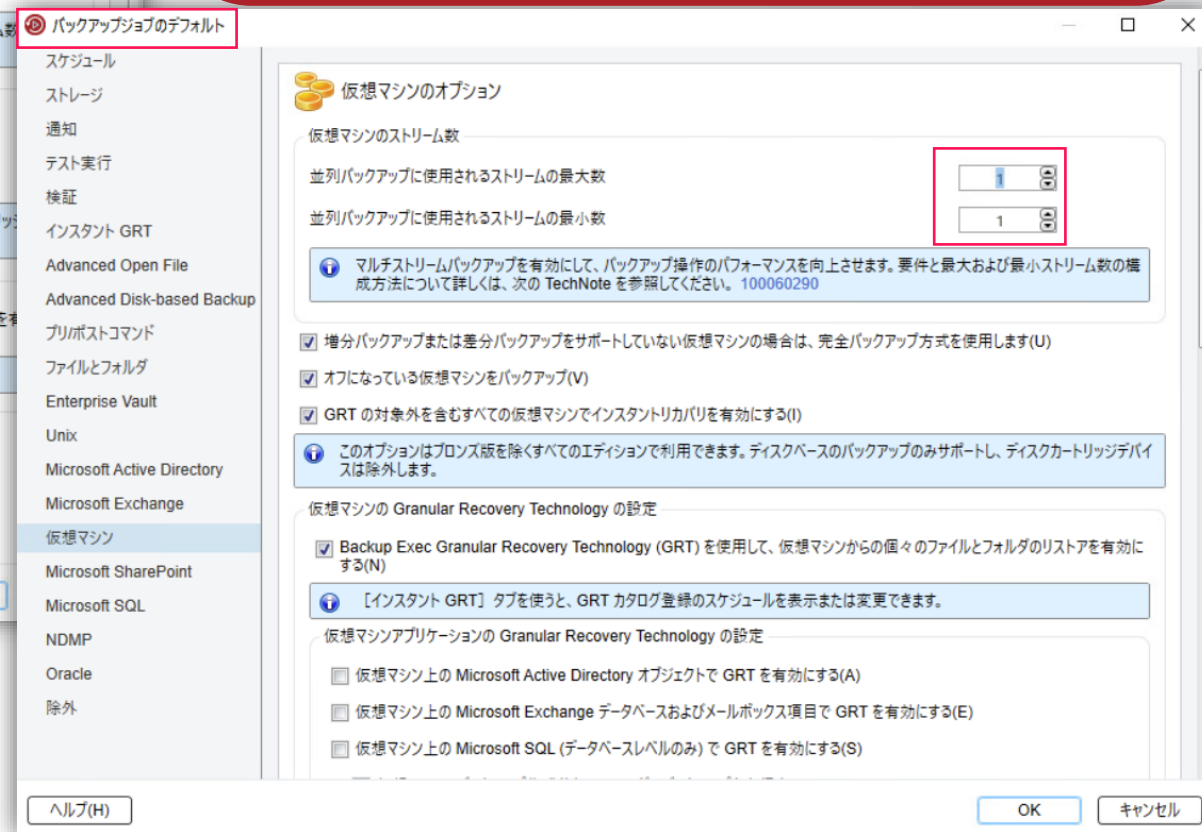
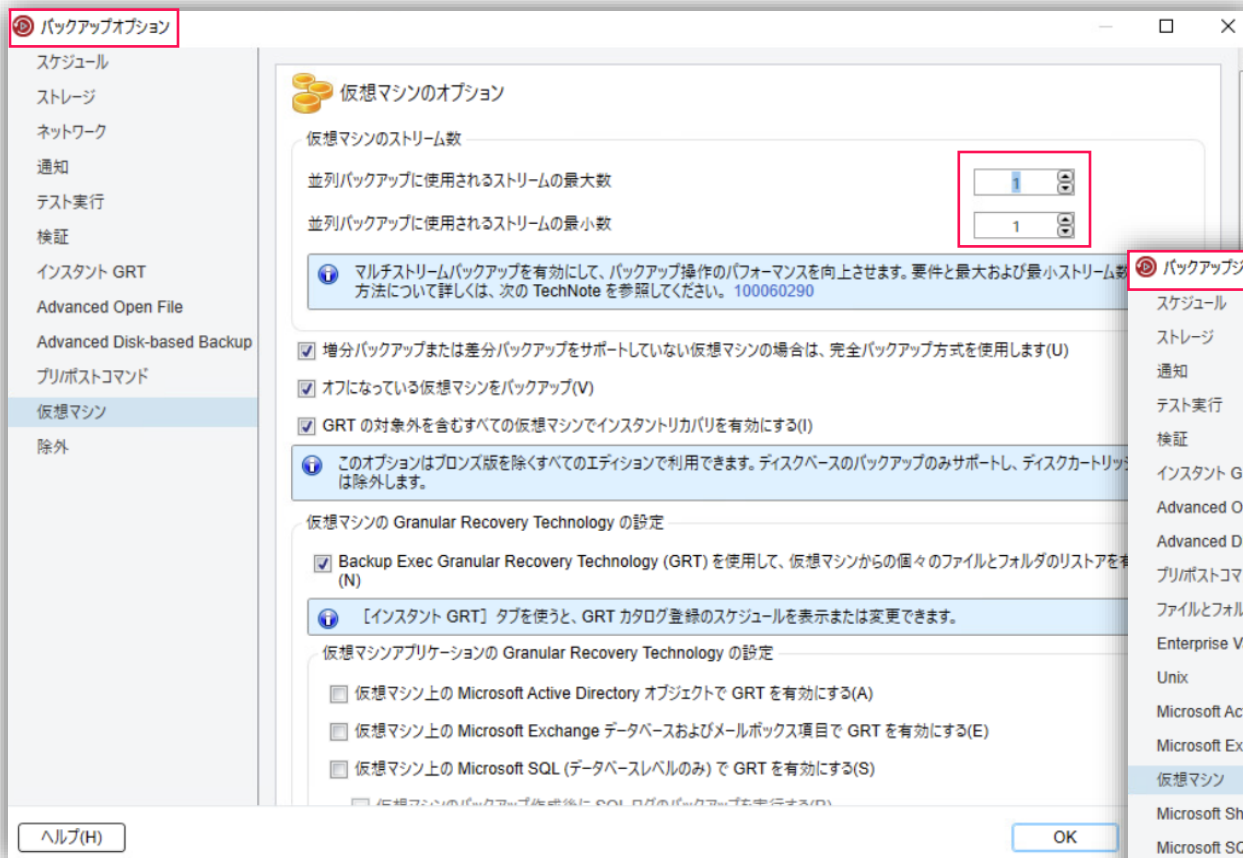


各ストリームは独立して仮想ディスクのバックアップを実行する

- 並列処理は、あくまでも1台の仮想マシンに紐づいている複数の仮想ディスクに対して行われる
- 複数の仮想マシンに対する処理は、従来通りシーケンシャルで行われる

# ストリーム数の設定

- デフォルトは、「最小=1」、  
「最大=1」が設定されている  
(並列処理なし)  
こちらを適宜修正する
- この設定は、ジョブ毎に設定する「バックアップジョブオプション」と「バックアップジョブのデフォルト」として設定することが可能



各ストリームは独立して  
仮想ディスクのバックアップを行う

# ストレージ側の「書き込みの同時並行セッション数」の設定

The screenshot shows the configuration page for a storage device named 'ディスクストレージ 0001'. The '書き込みの同時並行セッション数(C)' (Number of concurrent write sessions) is highlighted with a red box and set to 3. The 'Backup Exec サーバー情報' (Backup Exec server information) section shows the bus as 'E:\BEData', connection type as 'ローカル' (Local), and 'Backup Exec サービスの再起動が必要' (Backup Exec service restart required) as 'いいえ' (No). The '自動検出設定(A)' (Automatic detection settings) are set to '有効' (Enabled).

デバイス情報

名前(N): ディスクストレージ 0001  
説明(D):  
状態: オンライン

Backup Exec を読み取り専用操作に制限する: いいえ

ファイルの最大サイズ: 50 GB

ファイルの最大サイズまでディスク容量を事前に徐々に割り当てる: 無効

ブロックサイズとバッファサイズを自動検出: 有効

ディスクの空き容量が少ない - 危険: 5 % の空き容量  
ディスクの空き容量が少ない - 警告: 15 % の空き容量  
ディスクの空き容量が少ない: 25 % の空き容量

警告しきい値はディスクの空き領域の低しきい値より小さい値にし、危険しきい値は警告しきい値より小さい値にする必要があります。

Backup Exec 以外の操作作用に予約するディスク容量: 10 MB

統計情報

総容量:	100 GB
バックアップストレージの総数:	100 GB
使用領域:	22.2 GB
バックアップデータの書き込み:	32 KB
空き領域:	77.8 GB
圧縮率:	N/A

ヘルプ(H)

Backup Exec サーバー情報

バス: E:\BEData  
接続の種類: ローカル  
Backup Exec サービスの再起動が必要: いいえ

自動検出設定(A): 有効

書き込みの同時並行セッション数(C): 3

- 先ほどのストリーム数の設定に加えて、ストレージへの同時並行書き込み処理数も設定する
- 同時実行するすべてのジョブで、同時にアクティブとなるストリーム数を考慮した値を設定する

# ジョブのアクティビティ

ジョブのアクティビティ

192.168.0.210 バックアップ 00015-完全 ジョブのキャンセル(J)

ジョブ名: 192.168.0.210 バックアップ 00015-完全  
ジョブの種類: バックアップしています  
ジョブログ: BEX\_BESVR01\_00032.xml  
状態: 実行しています  
現在の操作: バックアップ  
サーバー名: \\BESVR01  
ストレージ:

ソース:  
宛先:  
現在処理中のディレクトリ:  
現在処理中のファイル:

**統計情報**

ディレクトリ数: 6	スキップしたファイル数: 0
ファイル: 2	破損ファイル数: 0
	使用中ファイル数: 0

進捗率: Backup Exec 設定でプリスキャンが無効にされているため使用できません

スループット: 4,292.00 MB/分  
バイト: 21.4 GB  
開始時刻: 2024/03/19 16:14:51  
経過時間: 00:08:09

総バイト数 (概算): N/A  
残り時間 (概算): N/A

注意: 概算を行うにはプリスキャンを使用するように設定する必要があります。

データストリーム 1

状態: 実行しています  
現在の操作: バックアップ  
ディレクトリ数: 2  
ファイル: 2

ヘルプ(H) 閉じる

ジョブのアクティビティ

経過時間: 00:00:31

データストリーム 2

状態: 実行しています  
現在の操作: バックアップ  
ディレクトリ数: 2  
ファイル: 0

ソース: VMVCB::\\192.168.0.210\VCGuestVm\{DC}ha-datacenter(DC)\vm\client02  
宛先: ディスクストレージ 0001  
現在処理中のディレクトリ: client02  
現在処理中のファイル: client02.vmdk

スループット: 1,873.00 MB/分  
バイト: 857951129, 6 バイト  
開始時刻: 2024/03/19 16:19:47  
経過時間: 00:02:29

総バイト数 (概算): N/A  
残り時間 (概算): N/A

データストリーム 3

状態: 実行しています  
現在の操作: バックアップ  
ディレクトリ数: 2  
ファイル: 0

ソース: VMVCB::\\192.168.0.210\VCGuestVm\{DC}ha-datacenter(DC)\vm\client02  
宛先: ディスクストレージ 0001  
現在処理中のディレクトリ: client02  
現在処理中のファイル: client02\_1.vmdk

スループット: 1,345.00 MB/分  
バイト: 616044646, 4 バイト  
開始時刻: 2024/03/19 16:20:29  
経過時間: 00:01:47

総バイト数 (概算): N/A  
残り時間 (概算): N/A

ヘルプ(H) 閉じる

「ジョブアクティビティ」の画面からそれぞれのストリームの処理を確認することができる

# ジョブログ

- ジョブ完了後、ジョブログからもそれぞれのストリームで処理された内容を確認できる
- パフォーマンス情報も確認できる

The screenshot shows the 'Job Log' window with '2 / 2 ジョブログ' in the title bar. The 'Job History' tab is active. The main content area is divided into sections. The 'Data Stream 1 Information' section is highlighted with a red border. It contains a 'Backup Set Information' sub-section with the following text:

ファミリー名: "2024/03/19、16:48:23 に作成されたメディア"  
"VMVGB:¥¥192.188.0.210¥¥VDCGuest¥¥(DC)ha-datacenter(DC)¥¥vm¥¥client02" のバックアップ  
バックアップセットのシーケンス番号: 1  
ストレージメディアのシーケンス番号: 1  
ジョブの説明:  
バックアップ方式: 完全 - 仮想マシンをバックアップ  
このバックアップに、仮想マシン/バックアップからの個別のファイルおよびフォルダのリストアを有効にするオプションが選択されました。  
Granular Recovery Technology (GRT) を使用してデータをリストアするには、仮想マシンに Agent for Windows をインストールする必要があります。  
このバックアップに対して【インスタント GRT の有効化】オプションが選択されました。

バックアップを 2024/03/19 16:50:21 に開始しました。

Buttons at the bottom: 名前を付けて保存(A), 印刷(P), 検索(F), ヘルプ(H), 閉じる

The screenshot shows the 'Job Log' window with '2 / 2 ジョブログ' in the title bar. The 'Job History' tab is active. The main content area shows a summary of the backup completion. The 'Backup Set Overview' section is highlighted with a blue bar. Below it, the 'Data Stream 0 Information' section is highlighted with a blue bar. The 'Backup Performance Summary' sub-section is highlighted with a red border and contains the following text:

Read/Write time indicates the time spent cumulatively in read/write calls. Read/Write buffer wait time indicates the time spent in waiting for the buffer to be available.  
For more information  
Please refer Technote: [100060280](#)

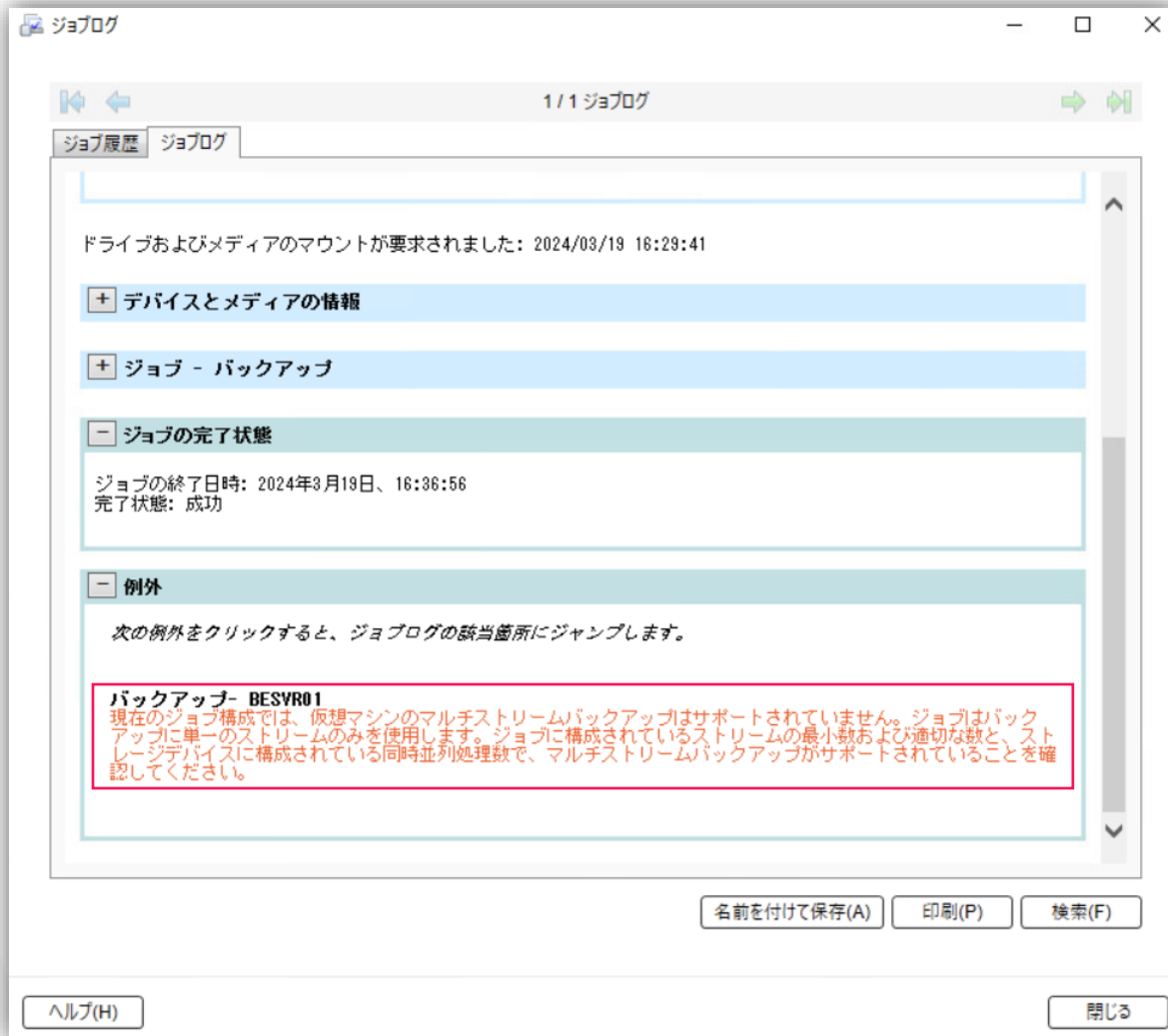
Data Stream 1  
client02.vmdk  
Read Time: 3.105717 minutes, Read Buffer Wait Time: 0.035467 minutes, Write Time: 0.445650 minutes, Write Buffer Wait Time: 0.000000 minutes  
Stream started on: 2024/03/19 at: 16:50:00  
Stream completed on: 2024/03/19 at 16:53:39

Data Stream 2  
client02\_1.vmdk  
Read Time: 2.002100 minutes, Read Buffer Wait Time: 0.035183 minutes, Write Time: 0.237433 minutes, Write Buffer Wait Time: 0.000517 minutes  
Stream started on: 2024/03/19 at: 16:50:21  
Stream completed on: 2024/03/19 at 16:53:19

The 'Job Completion Status' section at the bottom shows: ジョブの終了日時: 2024年3月19日、16:54:09, 完了状態: 成功

Buttons at the bottom: 名前を付けて保存(A), 印刷(P), 検索(F), ヘルプ(H), 閉じる

# ジョブログ



以下の条件を満たした場合、ジョブはシングルストリームで処理される

- 仮想マシンに仮想ディスクが1つしかない場合
- 複数の仮想マシンのバックアップで、仮想ディスクが1台しかない仮想マシンは、シングルストリームで処理される（他はマルチ）
- ストレージ側の同時並行セッション数が「1」に設定されている場合
- Backup Exec 23より古いバージョンのエージェントを使用している場合
- 最大ストリーム数の設定が「1」に設定されている場合
- マルチストリームに対応していないデバイスにバックアップを取得している場合  
（例:テープ、クラウドストレージ）

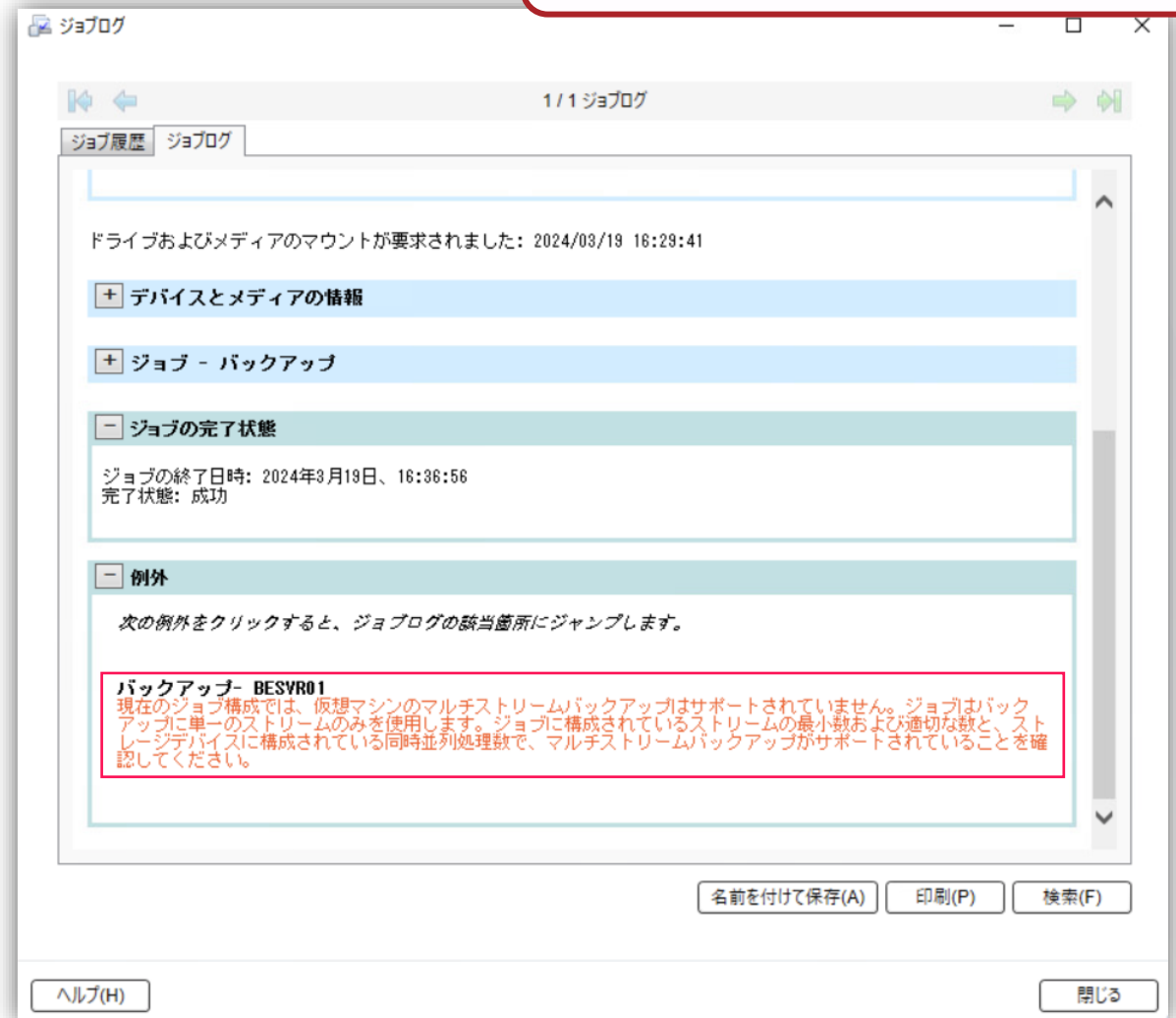


# シングルストリームへの切り替え

シングルストリームに切り替わったことが、ジョブログの例外に記録される

以下の条件を満たすと、ジョブはシングルストリームに切り替わる

- 仮想マシンに仮想ディスクが1つしかない場合
- ジョブの最大ストリーム数の設定が「1」に設定されている場合
- ストレージ側の同時並行セッション数が< 2に設定されている場合
- Backup Exec 23より古いバージョンのリモートエージェントを使用している場合
- マルチストリームに対応していないデバイスにバックアップを取得している場合  
(例:テープ、クラウドストレージ)



# M365の機能強化: SharePoint Onlineのリストア





# SharePoint Onlineリストアの機能強化

- M365のSharePoint Onlineの対応はBackup Exec 22.1から正式に対応を開始
  - SharePointサイトのリストアを行うためには、リストアを行う前に、ユーザ側でサイトの階層（構造）を手動で再作成しなければならなかった。サイトの構造が存在していないと、リストアができなかった
- Backup Exec 23.0では
  - サイトが無くなっても、サイトの構造も含めてベアメタルでリストアが可能
    - サイトを完全に失ってもリストアできるので、災害対策にも備えられる
  - サイトのプロパティ（メタ情報）や権限も保護の対象

# 新しいリストアオプション

リストアウィザード

データのリストア方法を指定してください。

リストアに使用する並列ストリームの推奨数(N):

リストア速度を最適化する方法について詳しくは、テクニカルノートを参照してください。100053781

利用できないサイト/サブサイト/リストの設定、権限、構造のみをリストアします。

このオプションは、設定とサイト構造をリストアします。権限は、作成されたエンティティについてのみリストアされます

上書きオプション

非表示のシステムリストとカタログをスキップします。

非表示の SharePoint Online リストとカタログのリストアをスキップします。リストは、SharePoint Online からデフォルトで作成されます。

リストア権限。

このオプションは、アイテムおよび場所の権限をリストアします。

どのリストアオプションを選択する必要がありますか?

< 戻る(B)   次へ(N) >   キャンセル

「…設定、権限、構造のみをリストア」を選択した場合、メタデータのみがリストアされる。データはリストアされない

「リストア権限」を選択しなかった場合、データとプロパティのみがリストアされる

# リストア場所の指定（新しいページ）


リストアウィザード

データのリストア先を指定してください。

リストアオプション

同じ SharePoint サイトへのリストア

バージョン

 リストアジョブを開始する前に、ユーザー、グループ、Teams サイトが利用できることを確認してください。BE 22.1 からのバックアップの場合、一致するテンプレートを持つサイト、リスト、サブサイトがターゲットで利用できることを確認してください。

ファイルシステムへのリストア

ファイルパス

バージョン

どのリストアオプションを選択する必要がありますか？

リストア先の指定は  
別ページに移動

# 対応言語の削減



# 対応言語の削減

## 対応言語

- 英語
- フランス語
- ドイツ語
- 日本語
- 中国語（簡体字）
- スペイン語

日本語は大丈夫！

## 非対応言語

- ポルトガル語
- イタリア語
- 韓国語
- ロシア語
- 中国語（繁体字）

# 参考情報





# Veritas Solution Channel (VSC)

日本のお客様向け情報サイト（製品・ソリューション情報、イベント・セミナーのご案内等）

<https://www.veritas-solution.com/>

- Backup Execに関する情報は「製品・ソリューション情報」→「データ保護」→「製品・サービス」のカテゴリは[Backup Exec]を選択

Veritasの日本のお客様向け情報サイト。随時更新中！

Veritas Solution Channel とは

Veritas Solution Channel では、ベリタスの製品・ソリューション情報やイベント・セミナー等の動画・資料を、よりわかりやすく日本のお客様・パートナー様にお届けしています！  
ご興味だけでしたら、弊社担当までご連絡ください

Veritas Solution Channel

Backup Exec カテゴリ

リセット

データ保護

2024年1月1日 その他  
Execファイル

2023年10月2日 その他  
PDF資料

2023年8月24日 製品  
PDF資料

2023年8月24日 製品  
PDF資料

2023年7月26日 その他  
PDF資料

2023年3月22日 その他  
PDF資料

2023年3月22日 製品  
PDF資料

2022年10月13日 製品  
PDF資料

さらに表示

# Backup Exec無料体験版

Backup Execのすべての機能を60日間無料で試せます！M365のバックアップも！

<https://www.veritas.com/form/trialware/backup-exec>

The screenshot shows the registration form for Backup Exec Trialware. The form is titled "Backup Exec™ Trialware" and asks users to "Complete the form to receive your free trial of Veritas Backup Exec." The form includes fields for First Name, Last Name, Work Email Address, Phone Number, Company, Country, Title, Address, City, State/Province, and Postal Code. There are also dropdown menus for Company Size and "What is your reason for trying this software?". A "Download Now" button is located at the bottom of the form.



The screenshot shows the download page for Backup Exec. It features a "Thank you for choosing to try Backup Exec." message and a table of available downloads. The table has columns for "File" and "Size".

File	Size	Download Now
Backup Exec 23.0 Install and upgrade from 20.x, 21.x, and 22.x to 23.0	2.04 GB	<a href="#">Download Now</a>
Backup Exec Migration Assistant (BEMA) to migrate Backup Exec 20.x, 21.x, and 22.x to 23.0	20.7 MB	<a href="#">Download Now</a>

**Note:** Using "Save Target As" may result in an access denied on the download  
Problem downloading or need more information? Go to [Download Instructions >>](#)

**Resources:** For guidance, help and support, the Backup Exec 23 Administrator's Guide, Backup Exec 23 Quick Installation Guide and other useful Backup Exec 23 documentation is available for download from the [Veritas Support Site](#). You can also refer to the [Backup Exec forum](#) on VOX for peer-to-peer discussions and to find additional resources and technical content.

Veritas Technical Support is not available with this trial software.

Ready to talk? Contact us at any time. [Request a Call from Sales](#) 1 (866) 837-4827 >

# Backup Execの各種情報

サイト名	URL
サポートサイトのページ	<a href="https://www.veritas.com/content/support/ja_JP/">https://www.veritas.com/content/support/ja_JP/</a>
サポートマトリックス（英語版のみ） - ハードウェア、ソフトウェアのコンパチビリティ	<a href="https://www.veritas.com/content/support/en_US/article.100040087">https://www.veritas.com/content/support/en_US/article.100040087</a>
Backup Exec管理者ガイド(日本語)	<a href="https://www.veritas.com/support/ja_JP/doc/63385057-162700025-0/v53887172-162700025">https://www.veritas.com/support/ja_JP/doc/63385057-162700025-0/v53887172-162700025</a>
Backup Exec 23 Readme(日本語)	<a href="https://www.veritas.com/support/ja_JP/doc/68021655-162699739-0/v118772419-162699739">https://www.veritas.com/support/ja_JP/doc/68021655-162699739-0/v118772419-162699739</a>
ナレッジベース（KB） - 製品として「Backup Exec」を選択	<a href="https://www.veritas.com/content/support/ja_JP/search-results?fq=(document_type%3A%22Knowledge_Base%22)">https://www.veritas.com/content/support/ja_JP/search-results?fq=(document_type%3A%22Knowledge_Base%22)</a>

# Backup Exec, System Recoveryお問い合わせ先一覧

	ご購入前(新規および更新発注前)のお問合せ		ご購入後のお問合せ
対象	お客様（エンドユーザ様向け）	一次代理店もしくは販売店様	すべて
名称	セールスインフォメーションセンター（SIC）	パートナーコールセンター（PCC）	サポートソリューション
 お電話	フリーダイヤル：0120-907-000 フリーダイヤル不可の場合：03-4531-1799 * 自動応答の音声メッセージに従い操作いただくと、それぞれの窓口につながります。		<b>フリーダイヤル：0120-07-8978</b> <b>(2024年4月1日以降)</b> 0120-99-3232 (2024年3月31日まで) フリーダイヤル不可の場合：03-4477-4957
 ウェブサイト	Webからのお問合せ <a href="https://www.veritas.com/ja/jp/form/requestacall/requestacall">https://www.veritas.com/ja/jp/form/requestacall/requestacall</a>		サポートポータルURL <a href="https://www.veritas.com/support/ja_JP.html">https://www.veritas.com/support/ja_JP.html</a>
 メール	問い合わせ先メールアドレス <a href="mailto:veritas-sic@veritas.ebizservice.jp">veritas-sic@veritas.ebizservice.jp</a>	問い合わせ先メールアドレス <a href="mailto:Veritas-partner@veritas.ebizservice.jp">Veritas-partner@veritas.ebizservice.jp</a>	問い合わせ先メールアドレス（カスタマケア） <a href="mailto:customercare_japan@veritas.com">customercare_japan@veritas.com</a> *非技術的なお問い合わせに限られます (例: 保有ライセンスに関する確認、ベリタスライセンスポータル (VEMS)の利用方法など)
 受付時間	10:00 - 12:00、13:00 - 17:00 *弊社営業日のみ。土日祝日、年末年始除く。		9:00 - 18:00 *弊社営業日のみ。土日祝日、年末年始除く *上記時間外は、エッセンシャル契約のみ（英語対応）
 ご対応内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 購入前の営業窓口</li> <li>■ 保有ライセンスのご案内</li> <li>■ 更新見積（定価）</li> <li>■ 評価版対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 購入前の営業窓口</li> <li>■ 保有ライセンスのご案内</li> <li>■ 更新見積（定価）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ テクニカルサポート受付窓口</li> <li>■ 購入後のライセンスキー取得</li> <li>■ サポートポータルの対応</li> <li>■ ライセンス譲渡・移管申請書に関するお問い合わせ</li> <li>■ 証書再発行</li> <li>■ 保有ライセンスのご案内</li> </ul>

ご清聴、ありがとうございました！